京城日報

三日夕刊

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾五錢 [illegible]
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話 [illegible] 振替 [illegible]

支那の形勢

▲黎總統米公使會見
總理罷免は米公使の意見

米國公使は一日大總統に謁見せり其會見は著しく内外人の注目を惹けり初め段總理を罷免する事の不法たらざるを說けるは米國公使にして段免職の前日午餐を共にし大總統の質問に答へたるものなりと(北京特電)

▲唐繼堯起つ
北方派に對抗せん

雲南督軍唐繼堯氏は民國維持の爲め四川省を獲得し北方派と對抗すべき戰略を定め新に軍隊を四川省に入れ既に四箇所を占領せり(北京特電)

▲倪嗣冲、反感を買ふ

倪嗣冲氏は長文の電報を王士珍氏に送り不平の數々を列べしが其一節に今回の擧は黎總統及び民黨を驅逐し袁世凱地下の亡靈を慰むる爲めなりとの意味あり爲めに一般の反感を昂めたるが如し(北京特電)

▲張勳、倪嗣冲等と會見

張勳氏は一日徐州を出發して天津に向へり倪嗣冲氏も一日天津に到著し徐世昌氏等と協議の上王士珍氏と電報を交換しつゝあり張勳氏は天津に於て彼等と會見の後北京に來る可く遲くも三日には到著す可しと(北京特電)

▲馮麟閣態度決定す
張督軍と行動を共にせん

張督軍麾下の一箇旅團は出兵の準備全く成り一令の下に山海關方面に出動の筈馮麟閣氏は張作霖氏と同一行動を執るに決定し今明日中に來奉の筈なり彼を吉林督軍たらしむるの密約張、馮兩氏及び張勳、徐世昌氏等の間に成れり(奉天特電)

▲衆議院の閉會宣言
解散の形式を避くる爲め

衆議院は二日臨時會議を開き軍人跋扈の爲め約法の權限を行ふ能はずとの理由にて自ら閉會を宣言し解散の形式を避けんとの内議を遂げたり(北京特電)

▲總統府内の四元兇

張勳氏が黎總統に總統府内の四元兇を罰す可しとせるは哈漢章、金永炎、丁世嶧(電文不明)等諸氏を指すものなりと(北京特電)

○東部大會戰準備か
獨軍大兵及び重砲を輸送

獨逸は東部戰線に於て近く一大激戰を行はんとするもの如く多數の兵士及び海軍重砲を同方面に輸送しつゝあり最近の獨逸戰報は東部全戰線に亙りて砲戰日に加はりつゝあるを報せり(紐育電報)

○聯合軍攻勢準備成る

フランクフルテル、ガゼット新聞は五月三十一日の紙上にて所謂非公式休戰狀態の終らんとするを警告し聯合軍は今や各戰線に於て一齊に攻勢を執らんとするの準備完成せりと斷ぜり(紐育電報)

○村雲尼公消息

九州各地巡錫中の村雲尼公には三日關門より門司に著かれ門司倶樂部にて御親敎あり午後七時十分下關發歸洛の途に就かれたり(門司特電)

○李王殿下御著京期

李王殿下には十三日頃御著京の御豫定にて芝離宮を御旅館に充てらるべく決定せり御滯京中陸軍飛行隊にては飛行の實況を殿下の御觀覽に供せんと(東京電報)

○中立合同不調

中立團組織は遂に破裂し兩派の交渉は不調に終りたり(東京電報)

○加藤總裁態度

外交調査協議に就き原、犬養兩氏の贊成するは勿論なるも加藤子の態度は頗る注目に値す(東京電報)

○馬鎭遊覽團來邱

馬山鎭海の在住民にて組織されたる南鮮日報主催大邱遊覽團六百五十名は三日午前十時五十分臨時列車にて大邱著多數の官民有志に迎へられ大邱の内外を視察せるが達城公園に於ける歡迎會は頗る盛なりき(大邱特電)

○長春露貨暴落

二日長春の露貨相場は百八十九留八十哥に暴落せり猶哈爾賓の替相場は正金銀行百九十九圓朝鮮銀行百九十四圓の記錄破りの暴落なり今や金對半額となれり(長春特電)

◎兌換協定委員

我奉天當局者の談に據れば日支兩國間に兌換に關する一切の問題を處理する爲め兩國官憲の間に一の協定成立したるが日本側委員左の如しと(奉天)

奉天商業會議所會頭鎌田九一郎、滿鐵奉天地方事務所主任原田鐵造、奉天居留民會長石田武亥、橫濱正金銀行奉天支店長伊東小三郎、朝鮮銀行奉天支店長小西春雄、三井物產株式會社奉天出張所主任中村尊輝、西原反次郎、正隆銀行奉天支店長高木成德、在奉天日本總領事館員安田安兵衛

◎防穀令實施難

朝鮮米價高の爲め滿洲粟の急需起り且つ山東方面は饑饉に瀕せんとしつゝある爲め滿洲穀價は日に騰貴し滿洲人民は前途を憂慮し恐慌を來たせるより奉天官憲は近く滿洲に防穀令を實施すべく準備中に在り之れが爲め今度は山東に大恐慌を來し滿洲防穀令施行は實に同省民の死活に關する事とて同省商民等は之れが善後策として山東物資の滿洲不輸入を決議せんとせるが若し實行の曉は滿洲物價の騰貴亦次で起るべきを以て結局防穀令の實施は頗る困難なりと觀測せらる(奉天)

◎調査班の組織

土地調査の結果を完全ならしむるため土地調査局にて既に土地臺帳を備へ附け異動地の整理取扱ひを開始したる府郡島に對し異動地整理調査班を派出し其の取扱ひの當否を調査し誤まりあれば相當訂正をなさんとするの計畫ある事に就ては既報せしが右に付和田土地調査局總務課長は曰く異動地整理調査班は六月十五日より南鮮各府郡に對し一齊に其の派出をなす豫定にて目下其の準備中なるが班數は七班にて之れを整理課に屬せしむべく各班に技術出身のもの一名事務出身のもの一名を各主任とし八九名の班員を所屬せしむべし而して其の最高級者を班の主幹となすべし又此班の出張事務の終了期は來る十月頃となるべきか云々

◎首相總督等に寄贈

臨時土地調査局にては事務の進捗に伸び測量器具并に器械の廢品を利用し椅子卓子其他家具を製作し之れを同局の事業に關係淺からざる寺内首相俵北海道長官兒玉翰長並に長谷川總督山縣政務總監其他各局長官局長等に寄贈する事となり此程來漸次發送しつゝあり

◎京城市街地圖

臨時土地調査局にて測量製圖したる京城市街地一萬分の一の地圖は參謀本部陸地測量部にて印刷發行する事となり兩三日前出來したり尚ほ該圖面は極彩色の美麗なるものにて大正五年一月現在により頗る精密を極め居れるが市内有名書房にて發賣する由

◎故友枝氏追悼會

故朝鮮通信社長友枝英三郎氏の三周年追悼會は二日午後二時より龍山瑞龍寺にて執行同氏未亡人を始め新聞通信社員其他氏生前の知己二十餘名參拜せり

◎元山選擧結果

元山學校組合會議員選擧は一日午後四時府廳樓上に於て行はれたり十二名の定員に對し最初より立候補を聲明して堂々の陣を張れる者は僅々五六氏に過ぎず他の數名に至つては悉く暗中飛躍を試むる者のみにて之を奇觀とするも尚ほ且つ定員に滿たざるの奇を呈したるが選擧の前夕に至りて官邊側なり稅關の古森郵便局の岡田兩氏現はれたるより選擧界俄かに色めき立ち夜陰に及んで激烈なる白兵戰を現出したり當日の總投票數は三百八十八票にして内無效一票あり開票の結果左の如し(元山)

▲五四票古森謙輔(新)▲五二票三上森四郎(新)▲五〇票杉野多市(再)▲四五票岡崎行治(新)▲三八票岩男百造(再)▲三一票赤間健生(再)▲三一票岩武島吉(再)▲二九票木岡卯之吉(再)▲二五票古賀庄太郎(再)▲一〇票池田一太郎(新)▲四票齋藤清道(新)▲二票石和房治(再)

◎釜山水道涸渇

釜山水道貯水池は去る三月以來全く降雨なき爲め漸次水量を減じたるより止むを得ず去月二十五日制限を設け午後二時より翌朝五時に至る間の給水を停止し專ら水量の減退を防ぎ居れるも其後何等降雨を見ず現在の有樣にては向後二十日間の給水量に過ぎざるを以て市民は大に憂慮し居れり(釜山)

◎貨物線增設請願

元山商業會議所にては過般の評議員會に於て元山驛に於ける發著貨物の現狀に鑑み到著專用貨物線の增設及び上屋設備の緊急なるを認め當局に對し施設方請願の件を決議せるが其理由とする處は現在の貨物線は從來一線のみにして之を發著に併用せらるゝため貨物の混交となり取扱上の不便尠らざるものあるのみならず最近元山驛發著の貨物の增加は日を共に著しく從つて貨物輻輳の場合到著貨物は上屋の設備なき地上に堆積せらるゝに至り商業者に與ふる影響打擊實に甚大なれば之れに對する施設を要請するにありと而して同會議所にては一日附を以て長谷川總督並に當地建設事務所宛に其々請願書を發送したり(元山)

◎野外演習擧行

大邱第八十聯隊將校以下約三百七十名は來る七日清道を經て密陽に赴き野外演習を行ふ筈(釜山)

◎輕鐵本社移轉披露

朝鮮輕便鐵道株式會社は愈々大邱に移轉するに決したる爲め本月五日午後五時より釜山の官民有志を鳴戸本店に招待し移轉披露の宴を催す由(釜山)

◎牟田口社長等動靜

西鮮地方を視察中なりし朝鮮輕便鐵道會社々長牟田口元學氏及び佐藤同社常務、水木技師長の一行は三日大邱に立寄り同夜同地官民の招宴に列し四日釜山に歸來する筈なり(釜山)

候補歷訪

✕大村百藏君
龍山の代表的

人物と云へば、先づ指を此の人に折らねばならぬ。大村將軍と云ふ言葉は其の百戰經來つた老練の人物を形容した言葉であらう。學校組合議員候補者として其の所感を叩く『今度は自ら進んで運動をやり組合會の議員になりたいとまで熱心に希望が足らず、推者のやうな者でも市民はしとらん然し外に龍山から出る人を擴には振り申さね、舊龍山には三百餘票あるけれど京城連の切り込み烈しく又役人の投票は全部當方に入れて貰ふと云ふわけに行かぬから、此所出たからとて根こそぎ舊龍の投票を得ると云ふ事は出來ますまい』云々と語つてゐた、舊龍山大部分の市民はイヤそんな御心配は御無用と云つて大村君を出すであらう、況んや大村君は出さるれば出ると云ふのであるから。

✕田中半四郎君
本町三丁目[illegible]

[illegible]選擧風が何處を吹くやらと言つた風で語る『私は御覽の通り[illegible]別に[illegible]いのです元來私は結束して選擧をするとか[illegible]で各人の自由意志を尊重して完全なる理想選擧をやり度い言ふのが年來の宿望です[illegible]努力と年來の主張を讓りて自己を紹介する[illegible]人があるが私は其れ程官城に不有名では無い積りです田中と云へば誰でも二十貫の大男を聯想しますからなあ……』と氏は朝鮮の教育論やら兒童の[illegible]育論やら振り廻し『市の所謂元老名士なるものが組合議員やなんかは——と極めて冷淡なのは[illegible]に心外に堪へぬと云ひ『今回は官吏側から七人の候補が出たとてやんやと言つてるが敢て論ずるに足らんのです官吏の議員と云へば實は私が其選擧を爲した譯だが實際何も出來やあしませんよ自分の思ふ事も言へないしれ……』氣の毒な樣です

✕安藤靜君
京城で最も早くから立候補の名乘を揚げた安藤靜君今し方本陣に引揚げた所恙附として語る『始めの内は非常に形勢優良でしたがね法政大學中央大學の知縣人會及び大和町一、二、三丁目の有志を地盤としての可なりの得票はあらうと思つて居ましたが昨今はどうも樂觀出來ませんな。と云ふのは學校仲間が自分迄三人も立つ事に成つたのです即ち最近官吏側から候補を推薦するに及び私の地盤として居た土地調査遞信司法部内よりも各々候補を出す事に成つたからですそれに民間の領分に切り込むで來るのだから耐らない遞信司法等はそうでもないが土地調査は他へは決して切り出さぬと言ひつゝぼつりぼつり喰ひ込むので遣り切れません之は私が最近發見した事實で未だ誰も知つて居ないのです』と聊か憤慨の態『いや私には運動員も事務所もありません蟄謀も運動員も皆兼務です何あに單騎奮闘ですよ城を枕に打死するも男兒の快哉事でしょう』と天晴れの御覺悟

✕高山孝行君
[illegible]

高山孝行選擧事務所の大に入らむとすると先づ[illegible]行手を遮る今し方車を飛ばして本町に歸つた高山氏語つて曰く『そうです私は今度始めて候補に立つたので勝手が分りません地盤と云ふ樣なものはチツトもありません二三日も立ちましたら[illegible]附近に[illegible]なりさうも出す積りで居ます』貴下の御抱負はと質問すると『いや抱負だとか主張だとか云ふものは別にありませんが只遺憾に思つてゐる事は從來候補者が當選すると推薦者と全く沒交涉に成り勝ちでかくては各種の調査が[illegible]に行かぬ譯です私は議員が[illegible]心且忠實に職務に[illegible]而かも[illegible]等に不均衡を來す等の事もある[illegible]各有權者に[illegible]て市民との連絡を絕たなかつたならば必ずや學校組合の成績は見るべきものあると信じます』

地方通信

=大田=

▲木工科の成績 大田公立普通學校の木工科は昨年十月の創設なるが其の主なる作業は日鮮人に必要なる家具農具等の製造にして卒業の後直ちに日常生活の一助たらしむべき目的なり目下日本人敎師一名を以て一週間二時間の外に不定授業として若干の時間を割つゝあり生徒は三四學年各十六名にして昨年度より最近迄約九十圓餘の製造品を出し尚ほ目下百餘圓の注文を受け居れる由主なる製造品は產業練習所の机、腰掛及び蠶座等にして價格の低廉なる爲め忠北道廳其他の歡迎を受け居れり尚ほ同校木工科を參觀に來るもの多しと

▲大田附近の蠶况 大田附近に於ける養蠶家は數多あるも未だ大規模の經營を爲すものなく其の主なるものとしては小平、小顯の兩氏にして何れも十石以上の收繭あるべく其の他に二三石乃至四五石に達するものは尠なからず多くは種製造用にして小平氏の分尤も早く上簇すべく多分十日頃なるべしと云ふ次に大田恩賜產業傳習所の蠶兒を開くに六月二日に於て第三齡三日目なるが一般に降雨量少なき爲め桑葉硬化しつゝあるも蠶兒の成育には何等の支障なく何れも順調なり

▲苗木の成績不良 本年春季に於ける天候は降雨量非常に尠かりし爲め大田附近に於ける各種苗木の活著步合は非常に不良なるが桑苗も本年接木したるものは活著步合も惡しく且つ發芽發育等不良なりと云へり因みに大田地方に於ては去る三十一日朝少の雷雨ありたるも其の量至つて尠なかりし爲め果樹麥蔬菜等の發育不良にして農家は何れも喜雨の到るを待ち居れり

▲牛皮稍下落 朝鮮牛皮は一時露國軍需品の大注文殺到したる爲め非常の高値を示したるも去月中旬頃より露國の注文杜絕したる爲め大阪に於ける皮革相場は下落し一時原料大乾皮改良八十五圓のもの八十圓に同並品七十五圓のもの七十二圓内外に中改良七十五圓位のもの六十八九圓に同並六十五圓位のもの六十圓に小乾皮改良八十五圓の八十圓に同並七十五圓内外のもの七十圓位に下落せり目下農繁期に差し迫りたるも牛皮の出廻り非々あり

=大邱=

▲大邱消防演習 大邱消防組は一日午後二時より消防定期演習を行ふ事となり加茂組頭は組員一同を引率し大邱警察署の廣庭に到り葛城署長指揮の下に同演習を終りたる後葛城署長の訓示及び講評等ありて午後四時退散したり

▲實彈射擊演習 步兵第八十聯隊第六中隊は二日午前九時より午後四時に亙り大邱新射擊場附近に於て實彈射擊演習を行へり

▲ス博士大邱發 過般來邱後陝川郡附近視察中なりし市俄古大學敎授スタール博士は一日午後一時廿三分大邱驛を發し急行列車にて京城に向へり

▲宮原技師視察 水原蠶種製造所長技師宮原忠正氏は二日午後四時五分著列車にて著邱同夜一泊の上三日漆谷郡に赴き同地委託飼育中の交配種養蠶狀況を視察すべし

=木浦=

▲組合初會議 木浦學校組合會は既報の如く一日午後二時府廳會議室にて開會橋本府尹議長席に著き河内山氏の挨拶ありて後寄附採納の件を可決し會計檢査委員三名の選擧を行ひ奈良、松井、福田の三氏當選次に議事錄署名者の選擧をなし麻生、奈良兩氏當選豫備として松井、福田の兩氏當選せり尚當日は初會の事とて議場何となく緊張し議事の進捗及び議裁等を協定し大に新面目を發揮せり

▲橋本府尹招宴 木浦府尹橋本豐太郎氏は一日午後七時より新舊學校組合會議員同議員選擧立會人新聞記者團を旅亭東雲に招待盛宴を張りしが當日の組合會にて時間勵行の協定ありし爲め一人の遲刻者なく定刻に開會の爲め一層の生氣を添へたり

▲父兄會と母姉會 木浦小學校にては二日午前八時卅分より同校に於て母姉會を又實科高等女學校にては父兄會を開き授業參觀各學級にて意見交換を終り講堂に於て吉村校長の周到なる講話ありて十時卅分退散せしが頗る趣味ある會合なりし

▲協贊會協議會 本年秋季木浦に於て務安郡木浦府聯合の生產品々評會開催の筈につき協贊會設立の必要あり橋本府尹は一日午前九時より各代表者數氏を府廳に集め協議せしが長野、山野、高根、中田、奈良、木村等の數氏參列し本事業は商業會議所を中心とする方可然との議多く何等具體的の協定を見ず、會議所に依賴することとなりたれば何れ近々同所にて協議決定すべし

▲在郷軍人分會 木浦在郷軍人分會にては二日午後二時より評議員會を開き大正五年度決算、總會開會の件、役員改選其他二三要件を附議し來る十日總會開會の豫定なりと

▲五月の貿易 木浦稅關支署の統計に依れば五月中の貿易額は輸入十六萬七千八百十六圓、輸出三十六萬七百六十一圓にして先月に比し輸出に於て十五萬三千三百四十四圓、輸入に於て二千五百二十八圓を何れも減少したるが一月以來の累計は昨年に比し多大の增加を示せり

▲木浦郵便局 木浦郵便局に於ける先月中の取扱高左の如し

郵便 ▲普通通常引受一二〇、八七三配達一二〇、九四九▲特殊扱通常引受二八、二三[illegible]配達[illegible]▲小包引受六八二配達一、三三三

爲替貯金 ▲爲替振出口數一、七三五金額三八、九九八▲爲替拂渡口數一、七八一金額六六、一〇九▲貯金預入口數一、七七〇金額八、〇一二▲貯金拂戾口數四六七金額[illegible]▲振替貯金拂渡口數一四二金額[illegible]

電信電話 ▲電信四九四六着信[illegible]▲電話加入者數二三三呼出總數二、六一六

人事消息

▲小林氏之助氏(大邱[illegible]) 三日朝入京山本旅館へ
▲中野徳次郎氏(大阪[illegible]會社員) 同浦尾へ
▲櫻井清五郎氏(京都[illegible]代表社員) 同
▲南日大佐(大邱憲兵隊長) 同上

天地を搖がす觀衆の聲援
訓錬院へ!! 夥しい人波
本社主催 全鮮自轉車競走大會

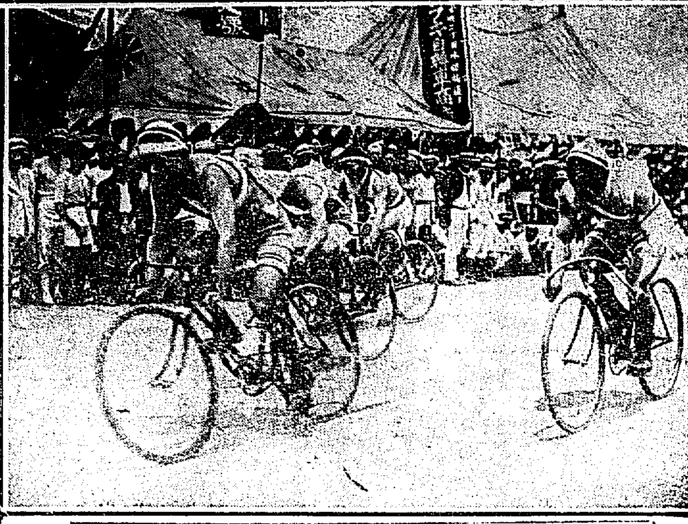
訓錬院へ!!訓錬院へ!!人波うつた三日の賑ひ、全鮮自轉車競走大會は

▽今正に酣 である、夥多の天幕、無數の彩旗、初夏の空晴れたる下に數萬の群集はトラックを取りまく、黄金町通りは來る電車も來る電車も滿載の觀客、訓錬院は觀客に埋められつゝある、此の日

▽全鮮から 集まつたチャンピオンの健兒は第一回の四選一哩競走から午後の豫選にうつるのであるが號砲一發、スタートを切れば駛るよ駛るよ選手の車、紅が勝ち白が拔き黄色驅り寄ころぶ、觀衆の興味は

▽いやが上 にも増して來る正午までには六回を了つた、拍手する人、歡呼する人、場内の人氣はますゝ高潮に達しつゝある、中にも四回の一哩半は全鮮第一流選手の豫選競走であつた、踏み込むペダル握れる把手、競走は

▽いよゝ 面白くなつて來る、樂隊の奏樂、應援の聲、訓錬院の天地は拍手の音にどよめいて居る午後の三時頃からはいよゝ責任競走がはじまる、訓錬院へ!!訓錬院へ!!滿都の人氣は今正に訓錬院へ集注しつゝある(三日午後二時)



全鮮自轉車競走大會の盛況

◎政務總監の孫さん
體量九百五十匁ある玉の樣なる孃さん

山縣元帥の令孫で政務總監の令息に當る辰吉氏の夫人鞭子は三十日午前十一時五十分玉の樣な令孃を安々と擧られた老公爵にとつては曾孫さんである富士見町の山縣邸を訪問すると初めて

◎お父さん となつた辰吉氏が溢れる許りの喜ひを顏に湛へて語る『初めてのお産ですから實に非常に心配しましたが、案外安々と生れて安心しました萬一手の屆かない事があつてはならぬと二十六日濱町病院に入院させたのです、醫者も今日あたり、お産があるだらうと言つて居たのです、それで今日は祖父も

◎樂しみに 待つて居りましたのです、男の子であれば好いと思つたのですが、世間では初めは女が好いと申しますからそれも好いかも知れません、私も家内も大きな方ですから子供も案外大きくて九百五十匁も在りましたよ若いお父樣の顏は嬉しさうに輝いて見わた(東京)

◎連枝連判の推薦狀を携へて東上

本派本願寺管長代理は連枝會議にて何れも近く大谷尊由師を推し足利執行名和顧問は各連枝連判の推薦狀其他を携へ三日午前零時王務省を訪ふ可く東上せり近松氏の本葬は京都大谷本廟にて二十日行はる可し(大阪特電)

◎仁川消防演習

仁川消防組點檢演習は三日午前十時より仁川尋常高等小學校庭に於て催されたり警務部よりは部長代理として小熊消防係主任臨場定刻消防器具點檢を終つて松元署長及び楠野府尹代理として堀内府書記の訓示ありたる後消防組の操練機械體操梯子操法水管操法車輛運動消防等ありて解散正午散を喫したり午後は小熊警部は之れに對する講評をなし運動會にて爆發性危險物運搬障害物通過人命救助火事場の家畜救護其他數十種の運動競技ありて閉場したるは午後四時頃當日は日本晴の日曜にて見物人多數ありたり(仁川)

◎萬死に一生を得た事幾度か
佛軍に投じ中隊長に昇進した日本青年

◇◇◇生還は豫期せず猪突的に決行して居ります◇◇◇

廣島縣豐田郡佐村字中佐陸軍豫備少尉岡崎氏は大正元年英領加奈太に渡航し昨年義勇軍として志願し目下佛國アラスの東北イプレスとソンムとの中間に當るスーセーの英佛戰線に於て中隊長に撰拔せられ斥候長の任に就き殊勳を奏しつゝあるが最近仁川警察勤務安藤巡査に英佛戰線の近況を報じて曰く

吾が大隊の受持となつて居る前戰線は昨年の秋頃より餘り變化がない、其で只今の處半永久的の塹壕工事は

■敵味方共に 殆く許りに大々的に完備して居るのでありますが吾第一線と敵との距離は近い處で僅々五十米突遠い所で三百米突で頭でも出したものならズドンと殺られる始末晝間は至極穩でも夜間になると激烈な戰鬪が交へられます自分は分隊長から中隊長に撰拔せられて專ら

■斥候の任に 膺り每夜の如く敵の銃砲丸、爆裂彈の危險を冒して敵情偵察を行つて居ますが最も危險な代りに任務を果した時の愉快は言語に盡す事が出來ない、斯る故に生還は豫期せず猪突的に決行して居ますが武運至つて強く萬死に一生を得た事は五六回にも上りますが

■今に至るも 負傷だに致しません、ある夜自分は日本人五名を率ゐ斥候長として敵前近き一つの工事を偵察する任務を受けて例の如く成功を祈ると言ふ意味で中隊長自らラムと言ふ酒を斥候兵に飲ませて塹壕を出ました、其夜は雪が烈しく降り出して地上には二寸位に積り一寸先も見わぬ位の暗夜であつた故地形に餘り慣れぬ我々に取つては宛然

■虎穴に探り 入るの感があつた、吾が前線と敵との間には鐵條網と地雷とで固めてある上に敵も味方も夜襲に備へる爲めに光度強いフランを上げるので暗夜にさへも針さへ見わる位に照される恁んな時敵に發見されたが最後忽ち機關銃で殺られるので危險も危險斥候程任務が重くて危險な者はない只磁石を賴りに

■暗の敵前を 前進して幸も任務を全ふしていざ歸還と言ふ途端敵の斥候二名と衝突ポンプの投げ合をした揚句敵を捕へ樣としたが遂びに見失ひ銃砲火の下を潛つて無事生還した事もありました、此間は空中戰が旺んに交はされますが中々壯觀の者で雜誌の口繪などを見る位ではとても

■實戰を想像 する事は出來ますまい此他は毒瓦斯や日常戰爭などでは夢にも見た事のない機械に依つて殺生し合つて居ります共等の事は追つて御通信する事と致します。(佛國スーセー附近塹壕內にて(仁川)

◎石油鑵爆發して大火傷

鎭南浦三和町居住の漁師福岡縣生れ古賀市次郎(三四)の内縁の妻山口縣都濃郡赤郷村生れ藤村ヨシ(三五)は一日早朝夫が椒島沖に出漁したるを以て九時頃起床し湯を沸さんとて勝手元にて七輪に火を起す中一間許後方に在りし約六升入の石油鑵が爆發し全身に石油を浴びると共に猛火に包まれたれば悲鳴を擧げて其場に昏倒したりしが折柄居合せたる濱崎きよ(三)は直ちに救助せんとしたるも猛火と煙にて土間に飛び降りる事もならず裏口より表に廻りてよしを引摺り出し大聲揚げて近隣の助を求めたれば近所の者等馳付け一方燃上る室の火を打消すと同時によしの衣類を解き放したるも已に顏面手足と云はず大火傷を負ひ人事不省に陷り居るより早速松林醫院に擔ぎ込み應急の手當を加へたるも大火傷にて一命覺束なかるべしと

◎若妻自殺を企つ

京城仁寺洞朴基弘方同居朴用三妻崔氏(二)は三十一日午後三時四十分頃附近の井戶に投身し自殺を企て居るを夫が發見し直ちに引揚げて救助せしが原因は姑と衝突したる末此の始末に及びたるものなり

讀者文藝 (一等に五十錢佛像類を呈す)

△下句付「立派でも」

▲—昔忘れぬ恩報じ　京城　シイエン生

▲—お里が聞て御産が醒め　龍山　荻目公

▲—少し足りない智慧袋　發州城内　久住　松月

▲—けしの花には毒があり　龍山　岩野生

▲—腹は冷たい盛菜心　本町　紀伊亭狩實

◎書篇は前科者

廣島縣加茂郡板城村生れ住所不定赤塚前三又は山田潤吉事櫻田等(三五)は前科三犯の曲者なるが五月二十七日午前十時頃京城南山町二丁目黒松某方家人の不在中合鍵にて戶を明け現金十七圓餘入りの手提金庫外雜品を竊取して立去らんとする所を家人に發見されて逮捕の上本町警察署に引渡されたり

◎鶉風號にて東京へ
チャンピオン氏の連絡飛行決行

東京大阪間の連絡飛行を決行す可きチャンピオン氏は三日午前十一時過鳴尾飛行場より鶉風號に搭乘同二十分大阪の空を東に向へるが五分間にして機影を沒したり尙當日風は東風にて逆風を受くる事となり其風力一時間十五哩なるより一時間八十哩の速力を有す鶉風號にては約六時間の後東京に著する豫定なり機上にはガソリン一石六斗を搭載し居れば八時間の飛行に耐ふべく搭載力は百五十封度にして牽引力二百八十キロを出し成績良好なるより直に東京へ向ひしなり機上にはコンパス地圖等を携へ大阪府知事及び市長より東京の知事及び市長に宛たる書面を携行せり(大阪特電)

◎支那兵我船員に發砲
南京に入港せし空知丸の機關長以下三名重輕傷を負ふ

三十日南京に入港上陸せし空知丸機關長等に對し支那兵が突然發砲したりとの報あり同船長より內田汽船會社への來電に依れば細谷機關長は輕傷を負ひ遊某は重傷なれど生命は取止む可く右手を擊たれし佐藤某は約二週間にて全治の見込也と(大阪特電)

●帆船の顚覆　黄海道松禾郡豐海面椒島近海沖合にて五月二十[illegible]難せしが[illegible]は遂に流失し五百圓の損失を蒙り頃日歸宅して其旨屆出でたり[illegible]女五、漁者三を檢擧し說諭放還したるもの十八件ありたりと

高田吉道樹、石川客八郎、廣岡誠二、寺田克己、岩井田はつ、塚崎忠三郎、茅野省三、木下千代子、同良一、同かれ子、千原貢一、中山かれた、村上典十郎、二宮[illegible]、[illegible]四郎、同[illegible]子[illegible]

●連絡船入港　六月二日午後九時三十分釜山入港對馬丸一二等客　一等(三名)佐藤國藏、佛國人一名、[illegible]

讀者文藝課題及び募集規定

■募集規程▲用紙は端書又は同形の洋紙一枚每に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事[illegible]

天氣　曇り時々晴れ

松丸太各種荷揃　龍山印刷局前(電話五一二番)　竹村材木店

京畿道廳共同販賣廣告　管內產繭ノ共同販賣ヲ行フニ付入札參加希望ノ者ハ入札人心得ニ依リ豫メ本道ノ承認ヲ受クルヘシ

十四金ペン先スワロウ印萬年筆　一円五十錢ヨリ八円迄　朝鮮支那特約發賣元　安村文房具部　各文具店に販賣せり

酒煙草きらいになる藥　禁酒丸・禁煙液　どんな酒煙草のみでも害なく心から嫌いになる郵券二錢送れば說明書及大澤博士其他名士の禁酒禁煙論進呈　大阪西區靱南通二　本舗　森田商店

小兒良藥　樋屋奇應丸　主治　驚風　氣絶　五疳　効能　解熱　疱瘡　痲疹　大阪天滿橋　樋屋合資會社(全國到る處の藥店にあり)

廣告　拜啓阿部章三義從來開城に於て小生支店名義の下に營業罷在候處今般本人名義に變更仕り爾今關係無之候條此段謹告仕候　仁川本町四丁目　鈴木倭　拜啓從來鈴木倭開城支店の商號の下に營業罷在候處都合に依り自分名義に變更致し獨立經營する事に相定め候條何卒倍舊の御愛顧希上候　開城南本町　阿部章三

強胃消化錠　八木田博士處方島田博士御鑑査　アナタの胃病にはマーゲン　=本劑の特色=　二博士確證の本マーゲンは甚式胃病藥と異り其卑効は根本的に胃の機能を盛んにし消化を佳くし食慾を増し胃弱を治し著しく胃を爽快にす　大阪市東區上本町五丁目　田畑保藥房

玩具卸商　薄利多賣出荷迅速は弊店の特色　京城本町一丁目　織田東洋館　電話二六九八番　振替京城二五六七番

葵印　年產額八十四萬函　窓硝子　三等品　舶來品ニ比シ一層優良ニテ御邸宅用ハ是非此品ニ限ル　四等品　從來輸入ノ品ト同一ニシテ通常舶來ト稱シ需用最多シ　五等品　即チ松印ハ經濟向ニ限リ御使用ヲ乞フ　兵庫縣尼崎市　旭硝子株式會社

開業廣告　皮膚病花柳病專門　六月一日より一般診療に從事す　京城太平通二丁目(多田信託所跡)　扇田醫院　院長　醫學士　扇田豐　電話二二五八番

各種萬年筆即時修繕　京城旭町二ノ六(府廳横左入)　東京パイン萬年筆出張所

氷道具一切新荷著　硝子食器　硝子製品一切　舶來食器類　菓子水飴瓶　硝子製ハイトリ器　◎特別大勉強仕り候間多少不拘御用命願上候　京城本町二丁目　卸商　長門屋商店　橋本信次郎　電話一三二番　振替京城一八七三

牛乳ニ優ル　國華石鹸　關西特約店　みやこ紅本舗　白粉都ノ雪　紅清號　京都　紅清號注意有

八丈島特產　精撰椿香油

移轉廣告　今般左記の處へ移轉仕候　京城府南大門通二丁目百三十七番地　ヴアキユーム、オイル、コンパニー(電話二四七四番)　松居辰雄

…一名にして同人等は日本形の帆船に乘組み前記の場所にて俄かに風浪に襲はれ難破したるより辛くも上陸避…

市警察署にては頃日管内全部に亙り署員總出にて一夜特別捜索を斷行したる結果…現行犯四、賭博四、巫…

雨は例年六月に入ると降るから本年もポツ〳〵降り出すであらうが此のまゝで月央まで經過すると植物は發育を阻害されるであらう（仁川）

オトギバナシ 鳩と風船玉

お天氣の好いある日曜日に、一郎君は、お父樣に連れられて、天滿宮にお詣りを致しました。天滿宮は、その日がお祭に當りますので、いろんな店が出てゐて、大層賑かでありました。

御殿の前に進んで行つて、パチパチと拍手をならして拜んだり、豆賣婆さんから豆を買つて鳩に食べさしてやつたりしてから、一郎君は風船玉を一つお父樣から買つて戴きました。

お父樣は、一郎君に

『さあ、もうお詣りは濟んだから、家に歸りませう。姉樣が、俺達の歸るのを待つてゐるに違ひない。俺達が歸ると、姉樣がお詣りに行く筈なんだから。』

『それではお父樣歸りませう。』

と一郎君は、風船玉の糸の先を持つて、ちよい〳〵風船玉を見上げながら、片手をお父樣に引かれて、お家の方へ歸りかけました。一二丁ばかり行つたところで、小さい石につまづいた拍子に、風船玉の糸を離したものですから、風船玉はフワ〳〵と上りはじめました。

『お、風船玉が、風船玉が、風船玉が、お父樣！。』

と一郎君は、さも惜しさうに、空へ上つて行く風船玉を立ちどまつて眺めてをりました。お父樣も、風船玉を見上げまして

『惜しいことをしたね、でも仕方がないから、後で姉樣に買つて來て貰つたら好からう。』

と仰しやいました。一郎君は、お父樣のお言葉を聞きながら、やはり風船玉から目を離さずにをりました。

すると天滿宮のお森の方から、一羽の鳩がこちらへ飛んでまゐりました。一郎君はその鳩を見ると、直に大きな聲で

『鳩や、鳩や、あの風船玉は僕のだから、糸をくはへて持つて下りて來てお呉れ、鳩や、鳩や』と申しました。鳩にそんなことを頼んでも駄目だのにと、お父樣は思ひになりながら、默つて鳩と風船玉の方を眺めていらつしやいました。

鳩は、一郎君の聲が聞えなかつたと見えまして、スツと、風船玉の傍を通つて、東の方へ飛んで行つてしまはうと致しました。一郎君は又もや聲を張上げて、

『鳩や、その風船玉をくはへて下りて來てお呉れ。糸をくはへて下りて來てお呉れ！たつた今買つて戴いた新しい風船玉なんだから』

と申しました。さうしますと、その聲が鳩に聞ゑたものと見ゑまして鳩は直きに風船玉の傍へ飛んで行つて、糸を嘴でくはへたと思ふと、サツと舞下りてまゐりました。

それを御覧になつたお父樣はびつくりなさいまして、

『やあ、鳩が持つて來て呉れるぞ。これは不思議だ。本當に不思議だ。』

と仰しやいました。一郎君はにこ〳〵顔で、

『お父樣、僕が二度も、あゝ云つて頼んだのですもの。』

と頼めば持つて來て呉れるのが鳩の役目だと考へてゐるやうな樣子で、一郎君はから申しました。

其處に鳩は舞下りてまゐりまして糸をくはへた嘴を一郎君の前に出しました。一郎君は、

『どうも有難う。又お詣りをしたら豆を買つて食べさして上げるよ。どうも有難う。』

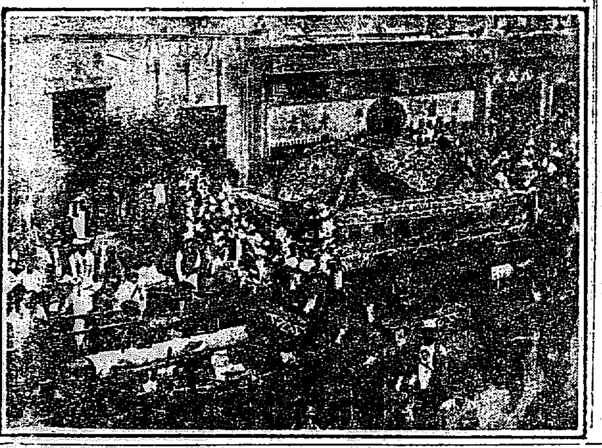
と云ひながら、鳩の嘴から糸を外して風船玉を受取りました。すると鳩は、風船玉を一郎君に渡しましてこれで安心だといふやうな顔をしながら、サツと空へ舞上り、東の方へ飛んで行つてしまひました（をはり）

京仁地方雨量 五月中に五十ミリ降つた

平田仁川觀測所長の談に依れば五月中京仁地方に於ける降雨量は五十ミリ内外木浦釜山方面は三四十ミリで例年の平均雨量百ミリに比すれば甚だ尠いと謂はねばならぬ、然し朝鮮の五月は内地の五月と違つて陽氣の變動が激しく京仁地方でも明治四十三年の如き六ミリ内外に過ぎない年もあれば昨年の如く百四十ミリ以上の降雨を見る年もあるから旱魃と言つて騷ぐ程の事もなからうと思ふ

支那名優の葬式

支那劇壇の大王と稱せられ前清西太后より多大の優遇を受けたる老優譚鑫培は七十二歳を名殘として不歸の客となり三十日井戸胡同なる邸宅で盛大な葬式を行ひたるが流石支那第一の名優丈けありて各界の顯れる俳優數千の會葬者より成る、列は數十丁の長きに及び廣き衙門の大路も人を以つて埋められたる如き盛況なりき。就中梨園界の名流顯る多く此行列に從ふたるは人目を引きたり。寫眞は其葬式の實況にして中央は柩なり



評判の好い朝鮮人參で成功した鮮人村 名古屋の鮮人會長

愛知縣御器所村字古市場といへば名古屋の近在で小さい村であるが此村には内地移住の朝鮮人が多數住つてゐた宛然朝鮮人村を現出してゐる名古屋全體にゐる朝鮮人は凡て百八十一名あつて多くは

▽**飴の行商を** やつてゐるので多くは市内に散在してゐるが此の人々は必ず御器所村に足を止めて身の振方を定めるのが之等の新來者の世話をしてゐるのが岡田良七と云ふ人である岡田良七とは朝鮮人であるが今では御器所村に住つてゐて内地婦人を去年九月妻に迎へ内鮮同化を事實の上に現はし新家庭は頗る圓滿で

▽**樂い月日を** 送つてゐる細君は今姙娠中で可愛い子供の生れるのを樂みに指折り數へて待つてゐる岡田良七は成鏡南道密陽郡内面新松里の人朝鮮名は朴春琴と云つて十一歳の時が恰も京釜線建設の際であつて日本語を知つてゐる者がボロイ金儲けをするのを見て自分も

▽**日本語が覺** わたいと思つたのが動機で只一人話しにのみ聞いた日本に憧れて神戸に上陸して某大小商に奉公してゐたが國から叔父が來て無理に國に伴歸つたが岡田良七の朴春琴は華やかな日本が忘れられず十五の時兩親の許しを得て再び神戸に來り以前の家に奉公し後横濱に出て辛棒して

▽**勤めた結果** 多少の貯へも出來今から五年前名古屋に來て朝鮮人參の販賣を始めドン〳〵成功して今では内地婦人を妻として有福に暮してゐる人望の歸する所衆に推されて鮮人會長となり同胞鮮人の指導者となり或は色々の世話をして居る名古屋中區門前警察署長今野氏同署高等刑事稲垣氏其他署員の朝鮮村の御器所村が同署管轄内である關係上

▽**皆同情して** 種々の便宜を與へ優遇するので一般人も朝鮮人に對する感情も改まり現に御器所村に居住してゐる八十名の中で八名迄内地婦人を妻として圓滿な内鮮同化の家庭を作つてゐる中に些は勞働して夜は學校に通つてゐる健實な青年もある（大阪支局）

銀盃下賜

仁川本町村谷吉藏氏は昨年六月仁川尋常高等小學校基本金中へ金五百圓寄附したるに付き今回賞勳局總裁より賞狀及び銀盃一個を下賜せられたり（仁川）

降雨と滿洲粟 一雨で四五十錢方下落した

三十日朝鮮北部は小雨ありたるが滿洲は一圓に渉り相當の降雨ありたる爲め久しく旱魃を憂ひ凶年を杞憂し居たる同地方民は何れも愁眉を開きたり此れが爲めに暴騰したる穀類は遽かに下落に傾きたる旨三井、川支店に入電ありたるが降雨前迄は仁川著滿洲粟十五圓なりしも四五十錢安となりたり粟は重に鐵嶺奉天方面より仕向けられつゝ有るが本年は米價昂騰の折柄仁川奥地方面の需要著しく增加し三井仁川扱のみにても多量に上り偶注文頻々たる由在米沸底の聲高き折柄なれば假令降雨あるも遽かに需要減せざる可く鮮人中には思惑買をなさんとする者さへあり

蚊から傳染する恐しい病氣 千葉縣に流行

◆蚊に由つて媒介さるゝマラリヤ病のことは人の能知るところなるも千葉縣印旛沼附近の濕潤地に發生流行しつゝあるフヒラピヤ病は知る人稀なり同病はワイル氏病と同樣地方的の性質を帶び蚊を中間宿主とするフヒラピヤ原蟲に依りて人體に傳染するものなり之が適當なる治療法は今日まで何ほ發見されざりしが千葉病院皮膚泌尿科醫長松崎春一郎氏は今春以來研究に著手し苦心の結果漸く新治療法を發見せり

◆右に就き同氏は語て曰くフヒラピヤ病はフヒラピヤの原蟲が生息する蚊に螫された時蚊の唾液と共に原蟲が人體の血管内に侵入して繁殖するものであるが此の原蟲は血管内に潜むとは云へ日中は血液を採取して檢鏡しても認むることは出來ぬ夜間九時より十二時の間に活動するのである此の病氣に罹ると三十八度位の發熱があり貧血を起して心氣昂進し且つ尿が卵白の如く白色を呈し次第に衰弱を加へ之が爲め直接死を招く樣なことはないが、衰弱の結果餘病を併發して遂に死亡するに至るものである

◆今日まで治療法を發見されて居なかつたが本縣に發生したるを機とし此の原蟲を移植したモルモツトに黴菌の特効藥水銀劑エマニコールを注射したところ効果現れたそこで患者の一人に對し十％のエマニコールを十回に分ち靜脈内に注射し遂に三名を完全に全治せしめたのである云々（東京）

爪の砂

魔藥持の賊 乘合客から麻睡劑を掛けられ大金を取られたは香川縣綾歌郡宋江村仲原岳次（三五）と長崎市中新町小西宗三郎（四七）の兩名で盜賊は瀬戸内海の船中汽車の中

巡査を突落 大分縣速見郡龜川町伊佐鬼熊一（四八）は巡査から護送される途中田町で巡査を堤下に突き落して逃げたが又捕つた

自殺の新法 北海道空知郡沼貝村中島力太郎（二五）は此世が厭になつたから自殺する爲め船員になつて二十七日大阪商船の鐵中丸から薩州島沖に投身した

幽靈の入營 大分縣宇佐郡四日市町松本友二（二六）は亡弟松次郎の名義で昨年小倉四十七聯隊に入營したことが此程發覺し大騷ぎとなつた

庭球で負傷 千葉縣北相馬郡川代村小學校生徒青山喜三郎（一四）はテニスに負けた腹癒せに相手の島田安雄（一五）を斧で傷けた同校には以前にもテニス喧嘩があつた

明君道中記

第百六十五席　田邊南龍口演

家綱公は御妾腹でございましてお勝の方と申すお腹より御出生になりましたのでございますが、因みによつて此のお勝の方の傳記を鳥渡申上げます、茲に野州都賀郡城ケ村名主吉右衛門といふ者がございまして、三人の子供を遺して妻は早く世を去りましたが、吉右衛門は次男に三番目の娘を江戸へ奉公に出し其の身は總領の吉太郎と與に居ります、素より金滿家のことで田地田畑も澤山所持いたして居りまする、處が至つて慈善家にして凶作打續き村内の者が困るのを見ると米錢なぞを惠み、又病人なぞがあれば手當をして遣る、助けを受けた者は吉右衛門を神佛の如くに敬つて居ります、吉右衛門一日宇都宮の城下へ用達に參つて戻つてまゐりました村の入口、右手にございまする、庚申堂の前に山獵師の勘太郎といふ者が鐵砲を持つて立つて居りますから、吉右衛門是れを見て 吉『イヤ其處に居るのはお名主樣ですか、何方へ 吉『貴樣は鐵砲なぞを持つて椽の下なぞを覗いて居るが、何うしたのだ 勘『何に今山から牝狐を追出して射うとしたら此の椽の下へ入つてしまひましたので 吉『何に牝狐を追込んで來たのか、ドレ〳〵 待てと吉右衛門が椽の下を覗いて見ると眞白な狐が隅の方に隱れて居て前足を合はして拜んで居る樣子 吉『コレ勘太郎、此處へ來て見ろ、畜生だから口は利けないが前足を合はせて拜んで居るのは助けてくれと云ふのだ、何うか助けて遣つてくれ 勘『穴戯ではございません、遊びにするのではなし、獸物を射つは私の稼業助ける譯にはなりません 吉『此の狐を射取つて幾何になるのだ 勘『射殺して皮を剝ぎ賣りましたらば一分位にはなりませう 吉『其處なら俺が一分遣るから此の狐の命を助けて遣つてくれ 勘『それは有難うございます 吉右衛門は懷中から一分の金を取り出して勘太郎に遣はし、其の牝狐を其處へ引出して 吉『コリヤ畜生ながら能く聞けよ、山の中に入つて居れば何のことは無いものを里へ出て來るから恁ういふ目に遭ふ、俺が金を出して貴樣の命を買取つて助けたのだから是に懲りて以來は人目にかゝらぬ樣にせイ』と追遣りました時に彼の牝狐は兩眼に涙を浮べ頭を低げて居つたが、人間ならば『辱い』と云ふであらうが、口が利けませんから頭で大地を叩きながら喜んで向山の方へ飛んで行きました、吉右衛門は是を見て大きに喜びあゝ宜い善根をしたと思ひ我家へ歸りましたが其の夜寢てしまひますと夜の八ツ頃ほひ枕頭にて誰やら呼起す者があるから吉右衛門眼を開いて見ると、其處に坐つて手を突いて居るのは廿四五歳にもならうかと云ふ女 女『お目覺を願ひます 吉『何だねお前は 女『妾は今日庚申堂の前で貴下の爲に助けられました牝狐でございます 吉『何に狐だ、何にしに來たのだ 女『今日のお禮に 吉『何處から入つて來た 女『戸の隙間から入つて參りました 吉『イヤ物騷千萬な、以來は來ないでも宜い 女『妾共は五百年餘經ますと白狐となつて軈て昇天が出來ます、天へ昇れば神とも敬はれるのであるが、然し多くは其の際、獵師が來つて命を殞すものでございます、妾も今日獵師の爲に捕はれて命を取られやうといたした處を貴下の爲に助けられ願ひ通り昇天が叶ひます、此の御恩は何を以て報じませう、一ツ御恩返しをいたしとうございます 吉『其の禮に來たのか 女『左樣でございます、吉『態々禮に來ないでも宜いからもう歸つてくんなさい 女『何ぞお望みがございますればそれを叶へて差上げませう』と女は前へ膝を進めました。

牛乳 新鮮 病院御用 岡野牧場 京城東四軒町 電話一〇六九番

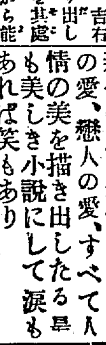
六月五日九星、舊四月十六日戊寅 本命/四綠 …… ▲四綠 情ぜざる事有る日 …… ▲五黃 …… ▲六白 …… ▲七赤 …… ▲八白 …… ▲九紫 …… ▲一白 めでたき日 …… ▲二黑 …… ▲三碧 …… [illegible]

小説 過去の罪 山縣五十雄先生譯 定價五〇〇 郵税〇四〇
親子の愛、兄弟の愛、主從の愛、戀人の愛、すべて人情の美を描き出したる最も美しき小説にして涙もあれば笑もあり
京城日報代理部（振替京城三〇〇）

代理店 各地方駐在社員採用販賣 有利事業照會返信料要す 八幡市北本町二丁目 勤業信託商會

りん病 多年の慢性も自宅で安全秘密に治す 良藥の自宅治療書を無代進呈す 消渇で困る方切手三錢送れ 名古屋市南かじや町 武藤龜吉

質 堀佐營業所 京城黃金町二丁目入（永樂町停留所北） 電話六三九番



（特許）紳士用商標防水衣は布帛の色澤を損せず表裏布帛の間にゴムを密着せる防水力確實ベタツカズ、コワバラズ、體裁宜く縫目にゴム布を貼れり インバネス、マント、トンビ、ツーピース、外套各種 一着三十圓乃至四十圓 見本及定價表無料送呈 御註文は最寄 佛國發明協會會員藤木先生發明 京都府下賀茂 星川發明部

演藝案内

大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
五月三十日より特別大興行 ○入場料時に普通
○寫ピードラ寺院の瀑布 ▲米國カレム會社大作 ○活劇ヘレンの冒險（電信技士の卷）全四卷 ▲日本一の活動俳優目玉松之助一世一代の女形 ▲お馴染の尾上松之助が一生一代の女形さなりお局お聟に扮し川田誠したる一度た堪せらるゝや三都の愛活者を熱狂せしめたる天明五人女は實に雲龍丸の紛失より始まり波瀾重疊お聟が女な刀らの奮闘活躍は寶刀の取り戻しに至る迄見るからに痛快極りなき女俠傳 ▲米國キーストン會社傑作 ○滑稽大活劇デブ君對アラスカ人 全二卷 ▲日活東京派立花貞次郎以下全員出演婦人畫報連載小說菊地幽芳先生脚作 ○新派劇お夏文代 全七卷 ▲純活動寫眞劇さ銘打たる本劇は原作者菊地幽芳先生が二個年に互り婦人畫報に連載し其艶麗なる麗筆を心くまで揮ひたる日活東京派俳優の一大努力上以て北國なる背景は日光箱根等我國の代表的風致ならしし名勝の觀光と趣味深き芝居とが一所に見らるゝ近時日本キネマ界代表的の新派純活動劇なり見られよ ○寫眞長尺に付午後五時半開館 ▲從來發行の招待券は御斷申候

有樂館 直營 早川演藝部 東京小林商會滿鮮一手代理店 米國ユニヴーサル會社特約
電話（階上）四九七番（階下）二〇五番
六月一日より公開の三大特選寫眞 資本金二億萬圓世界一の大寫眞會社米國ユニヴーサル會社が一箇年の日子さ百萬圓を投じて撮影せる特作品！名金快漢ロローにて御馴染のフォード氏カーナード嬢大一座出演 ▲大冒險大活劇『第二紫の覆面』全卅卷の內四卷上場 米國の天地、東京のキネマ界は今や『紫の覆面』を以て熱狂されつゝあり淺草帝國館は目下四月中旬京城有樂館は六月一日より公開す 市川海老十郎一座が努力になる本年四月下旬封切 ▲舊劇關取千兩幟『稻川內の段』全三卷 太夫竹本榮光出語り ▲新派社會劇『緣の糸』全四卷 東京小林商會第二回特作 高部幸次郎、岬田力藏（小堀誠）、芝田子、吉石川新水）、岡本、陸海郎）、藤名鋼工、子）貝塚工學士 堀川浪之助）海軍大佐…… 隅敬郎）藤名雷吉（栗井明）無情淡肝四力藏の娘、薄命の佳人國子は良人にかれ無惨に航し隣りたらん、さ……要せらる…緣の條件の下に花吉と名乘り…名み…北に…す國家…領せ…家令雷吉の…し快…花吉は其間に介在して波瀾…重疊…の…劇…畫…見よ高部、石川が井上、木下…抗せんとする共努力を ▲寫眞長尺に付午後六時四十分開演

御成座 電話一九一 新派劇友美團靜間三郎一行
▲第八回替狂言 ▲一番目 酒 ▲二番目 客と藝者 衣
…ろは月太、花岡香、川上源太郎、高松正、岡六郎、同定夫、矢野勘次郎、小松政夫、淺川明、佐藤主馬、高多村一水、清水俠夫、平松實、花村靜枝、靜間三郎

黃金館 電話二六三七 六五二 大然色活動寫眞株式會社京城釜山一手代理店
▲六月二日より八日迄七日間 ▲大冒險大活劇『ボーリン』御馴染の諸君の最も親しきボーリン女史が二十卷の如く大活躍を演ずる大傑作篇 ▲山縣五十雄先生譯京城日報掲載小說『過去の罪』親子の愛、兄弟の愛、主從の愛、戀人の愛、すべて人情の美を描き出したる最も美しき小說 ◎家庭悲劇『過去の罪』…… ▲舊劇血櫻七之助 …… 京城日報愛讀者は特に大割引あり 特等…上等…階下全部十五錢

御内意に依り謹製したる
美顔洗粉

有難き御内意

歐洲戰爭が始つて舶來化粧品が來なくなりましたに就て、從來佛蘭西製の洗粉を御賞美になつて居られた高貴方の御思召として、桃谷研究試驗所へ誠に有難い御内意が傳達されました。其れは舶來品に優るやうな洗粉を新製奉進せよといふ御内意です。研究試驗所では此上もない光榮に感激して數ケ月の研究を重ねて出來上つたのが此美顔洗粉であります。

名聲いよく高き美顔化粧料

配合せる成分と效果!!

美顔洗粉は普通の洗粉と違ひ、皮膚の清洗剤に加へて、最近桃谷研究試驗所で發見完成した、極めて有効な植物性の粘液美容素を始め漂白作用といつて皮膚の新陳代謝を活溌にして垢ヌケさせる作用の最も強い或原料。それに純な、優れた蛋白質と中性脂肪分等を適度に配合して拵へた品ですから、其効果も皮膚を洗ひ浄めるばかりでなく、皮膚を柔かに滑かに美しい光澤を添へて容貌の美を增し、續けて使へば次第に垢ヌケして色を白くする美容上の効果が完全に備り、それに香の美しさ使ひ心地の快さまで、充分行屆いたものであります。殊にこの洗粉は氣持がよい程色が純白なので、一寸見ても他の洗粉と大分違つてゐる事がお解りになります。

姫百合

御用品監督部の女工

御内意により新式洗粉を創製したる
桃谷研究試驗所

所長　藥學士　桃谷幹次郎
技師　理學士　西澤勇志智
仝　醫學士　米倉昌達
仝　千葉藥學士　小磯勝次郎
仝　仝藥學士　齋藤銳助
顧問　藥學博士　丹波敬三氏
　　　醫學博士　山本淳二氏

第三版

六月四日 (夕刊と合せて八頁)

發行所 京城日報社 京城太平通一丁目

[illegible]其の經濟界に於いて滿洲に及び內地資本家並に企業家中滿洲に投資若くは企業せんとするもの漸來漸く其[illegible]社を[illegible]き目下原料たる部分の栽培に努めつゝあると共に一方[illegible]を輸入して之を精製す[illegible]の藤原銀次郎氏は此程入滿直ちに撫順に向へり、安東縣の柞蠶製絲事業も益々好況に向ひつゝあり

[illegible]が景氣は相變らず素晴らしく[illegible]て之を目的に企てられた[illegible]は其の創立員の[illegible]中村敏雄氏が[illegible]

[illegible]ものにて[illegible]を變更して之を資本金五百萬圓の企業會社となし當[illegible]に建物のみならず化學工業、油房製[illegible]

是れは資本金百萬圓にして三井支店次席の神成季吉氏その創立に主として從事し居り設立の上は本社を大連に置く筈なるが長春にも別に製麻[illegible]

[illegible]一時悲境に陷りたる大連油房業が本年に入りて頓に景氣付き來れるが如きも滿洲企業界の旺盛に隨伴せる現象といふべく豊富なる內地[illegible]

露國へ赴任の途 熊崎莫斯科領事談

新任莫斯科領事熊崎恭氏は赴任の途二日午後九時南大門通過北行せるが列車中に於ける氏の談に曰く

▽古き都の莫斯科

莫斯科には今回が始めてです莫斯科は古き歴史を有する上に露國第一の商工業殷盛の場所でありますから恰度我國の京都と大阪とを合せた様な處で有ります彼の名高きクレムリン宮に關する歴史だけを調査しても露國勃興の跡が分る譯でありますペトログラードは首都には相違ないが露國民に取つては何處か外國臭味の冷やかな感情がありませう。然るに莫斯科は祖先の建設したる舊都であり祖先の血を流し祖先の名譽の傳へられて居る處でありますから國民と親しみを持つて居る事は勿論ペトログラード以上であります、莫斯科には舊き露國の貴族が多數に居住し茲には純スラブ思想が固まつて居ります、斯様な様々の意味に於て今回の莫斯科行きを非常に愉快に感じて居る次第であります、殊に露國は今や革命維新の際でありますから古き露國は如何なるものたりしか又新らしき露國の現狀は如何に推移しつゝあるかと云ふ事は極めて興味多い問題でありますから自分一個としても着任後は充分に研究したいと考へて居る次第です

▽露國革命と將來

露國の革命は革命派さへ豫期して居らぬ程に容易に成就して了つたのであります凡てが豫想外に急轉直下した爲めに却つて後始末の手の付け方に困つて居ると云ふ傾きが無かるまいかと考へられる。露國民は幾世紀の間も極端なる壓迫を蒙つて居つたに相違ない、しかし近時に至つて政府が革命を促進させる程の壓迫を加へた譯では決してない、然るに彼の民衆は其文化、思想日に進みつゝあるに拘はらず其の爲政者は二三世紀以前と餘り異つて居らぬ心持を以て民に臨んで居つたから駸々と進んで止まらない民衆の心理は期せず一致して遂に彼の如き事態を現出するに至つた而し露國人が果して共和政治の下に圓滿なる發達を遂げ得るや否やは疑問である彼等は未だ共和政治に對する經驗も歴史をも持つて居らぬ故其の結果は今後の事實に見なければ成らぬ

▽戰後の歐露貿易

莫斯科の商品は戰前殆ど語るべき何物をも持つて居らぬ戰後大に發達せりとは云ふものゝ昨今はまた貨物の運輸杜絶の爲め充分發展すべき希望を有しながら如何ともする事能はず戰後は再び獨逸の商勢力浸入すべく豫期され居れど而し我國の商業も戰前に比すれば大に發展すべき希望は充分にあり著任後は先づ第一に通商事項に關して充分なる調査を遂げる考へで居りますと語り更に話頭を前任地に代へて語つて曰く。

▽戰後米國人の富

米國も西海岸の力は中部地方の如く戰爭の好影響の爲め黄金の洪水氾濫するに至らず寧ろ戰爭の爲め物價の昂騰を來たし其の主要物産なる小麥木材等は汽船の回航杜絶せる爲めに値段は騰貴しながらも取引捗々しく行はれず戰爭に付てはコボして居りましたが然し昨年末頃から黄金の波は西海岸方面まで押寄せて參りました米國人は之等の黄金は少數富豪の手に收められ益々貧富の懸隔を甚だしく成らしめ社會の害毒を將來するものであると唱へて居りますが併し米國人の所謂貧民は比較的の話で彼等は矢張り富んで居ります彼等の生活は矢張り贅澤です、又米國には二三十萬弗の資産を有する所謂中産者が近來著るしく増加して來て利害は年々堅實に赴きつゝある事は羨望に堪へぬ次第であります

支那商工業の變遷(十五) 今關天彭

八、兩漢及び三國時代の工業

漢は前に云つた如く、農を重んじて百工を末技とする風があり、強く工人を抑へたので工業の起らぬのも無理はない。されど此の時代の建築には頗る壯麗なるものがある。それは高帝の未央宮と武帝の建章宮とで、前者は周圍二十八里あり、分ちて東闕、西闕とした、後者は東に鳳闕、西に虎圈、北に大池、南に玉堂、璧門あり、大池には蓬萊、方丈、瀛洲の諸島を備へた。武帝はこの外に長樂宮、甘泉宮などを作つたが、みな建章宮には及ばぬ。また上林苑を經營したが、秦の舊苑に據つたのであるが、廣さ三百里、宮を置くこと七十所とある餘程壯大なものである。製造品では糖がある、甘蔗の汁を絞つて作つたのだが、何の地から取つたのか分らぬ、また紙がある、後漢の蔡倫が作つたといふ。外には交椅がある、後世の坐椅はこれから始まる。また鏡がある、後世の鏡はこれから始まる。精巧なものでは七輪扇とて、一人が動かせば滿室に清風が生ずる扇があり、臥褥香爐とて、被褥の上にも置かれる香爐があり、グル／＼廻しても香爐が傾倒せず、合卺玉杯とて、二つの杯が並んで居て、その間に溝をつけ、酒が兩方に通ずるやうになつて居る杯もある。美術方面になると印を離るのが大進歩を遂げ、鈕印、銅印の二つがあるが、今存して居るのは銅印のみである。三國時代に及んでは、戰爭にこれ日も足らざる次第であつて、工業の進歩は見られぬのであるが、しかも呉には大分建築があつたのである。魏には例の曹操の銅雀臺や、文帝の鄴宮があり、その他に太極、九華、芙蓉、九華、承光等の諸宮殿があり、庭園には芳林園がある。こは後に名を華林と改めたが、大きな山を作つて草木を植ゑ、中に鳥獸を畜ひ置き、また大きな泉水を掘つて、船をその中に浮べたさうである。呉も太初宮や昭明宮などを建築した、昭明宮は太初宮の東にあつて、方五百丈もあつたといふ事である。しかるに製造物に至つては、非常なる退歩を來した。その一例を言はうなら、錦の名産地は蜀と呉とで、そこから魏へ輸出せられるのであるが、この時代は兩地の産物が非常に粗惡になつ

遊支所感

(三) 對日感情 漢城銀行專務 韓相龍氏談

△個人的關係 在留歐米人の支那人に對する態度を見るに殘酷の行爲珍しからず、吾人をして歎息に堪へざらしむるものあり、然るに日支間に在りては國家關係には彼の明治二十七年戰役ありまた滿洲一部に我軍隊の衝突を見し等の如き不祥事なきにあらざりしも個人的關係に至りては嘗て喧嘩なく騷擾なく極めて靜穩なるのみならず集會、宴席等に於ても彼我互に温情を披瀝し和氣靄然たるものあるを見る

△窮極の情愛 殊に各國人の集合例へば園遊會の如き場合に於ては支那人は日本人との對談を好み如何に外國語に巧みなるものと雖も歐米人に接せんよりは日本人に近かむことを希ふ狀況あり「由是觀之」窮極の情愛は人種の關係に因る可きを確信す、斯は微細の一例に過ぎずと雖も推して以て東洋の大局を將來に卜することを得べし

△表裡の策畧 前述の如く歐米人は支那人に向つて頗る馬鹿扱を爲し傍若無人の言動を弄するも、支那人の洋人崇拜熱は極めて熾烈の樣あり其の因由を案ずるに、歐米人が支那に於て事を爲すに當りては必ず指揮監督の位置に就き一人として下級に職するものなく、又た營利事業に於ても利益分配主義を以て能く官民を軟化せしむ、且つ彼等は各地に巨多の資本を注入し或は學校を設けて子女を教養し或は病院を建てゝ民庶を施療する等其の計畫極めて遠大にして施設頗る巧妙なるが爲めなる可し。獨逸人は青島市街の經營に當り支那人の爲め路側に一輪車道を設けて勞働者間の大歡迎を買へり、之れ亦些末事に過ぎずと雖も歐米人の對支策が概して官民の歡心を求め表に同國の利益を計つて裏に實益を收めむとするに在るを推知し得可し

△一本槍の日本 現に青島方面に於ける制錢買に就いて見るも從來獨逸人は巨額の買占を敢てし之を鑄潰して以て國外に搬出せしが、支那官民は之れに對して一言の異議を挾まず一回の悶着を生じたることなし、然るに帝國の占領後日本人の制錢買漸次多きを加ふるに至るや各地に於て面倒なる事件蜂起し遂には國際問題たるに至れり之れ結局獨逸人等は常に官民に通じ喰はしむるに利益の均霑を以てせしも、日本人は所謂一本槍にて其の間何等の策を弄する事なき爲めにあらざるか

大阪より

△大演習の準備 今秋滋賀縣下に於ける陸軍特別大演習に參加する各師團は本月末より機動演習を行ひつゝ中心點たる彦根方面に向つて進發し十一日十二日中に全部集合十三日より十六日迄大演習を行ひ十七日は閲兵式十八日は大饗宴を催さる可く陛下の彦根御著輦は十三日なるべしと因みに大本營は彦根中學校を以て充てさせらるると

△露行小包停滯 露國行郵便小包は依然として停滯多く長春局に約三萬個あり猶ほ遞信省管內に未發送保管のもの十三四萬個ある由なるが遞信省に於ては近時大口物のみの引受を拒絶し普通小口物のみの受託を受けつゝあるも尚一日の引受個數八百個以上を算し居れり而して他面朝鮮滿洲北支那の引受を合する時は約一千百個を算し居れる實情なるが一方東清鐵道は一日一千個と限定されあるを以て一日百個內外の新規停滯をなし自然普通貨物の輸送力を減少せしめ居れる結果小包郵便として託送するもの益々激增しつゝ之が輸送に關しては受付順に處理し居る爲め最少限度に見積るも受付日より露都着迄には殆ど六七十日間を要すべきを以て當局に於てはその措置に對し腐心し居れる由なるが要するに東清並に露國鐵道院の現在の輸送力を擴大するにあらざれば到底一掃は不可能なるべしと

日報詩壇

○雨後觀花 西田白陰
溪山雨霽日曈曈、李白桃紅艷不同、芳草滿隄添綠處、逐香蝴蝶舞春風、
評曰、白紅綠黃、色彩妍麗、

○春江漁父 小永井槐陰
春漲大江灣又灣、輕舸短棹興悠閑、來下網桃花岸、風刀魚鰕併載還、岸芷汀蘭春色闌、烟鬟風暖下前灘、江雨過晩潮張、盈尺銀魚上釣竿、
評曰、穩雅自然、絶無塵坌、

○春日禪房小集 茶島紫峰
脈脈春風淡淡煙、禪房開占好林泉、何來黄鳥弄喉玉、故近詩人敲句邊、
評曰、詞亦如玉、叩之丹響必戛然、

○春江漁父 高田小芥
心在煙波杳靄間、一杯買醉臥看山、任風吹送漁舟去、夢浸桃花楊柳灣、
評曰、搖之曳之、風神無限、

中古吸入瓦斯エンジン賣却
一、カイノック會社製吸入瓦斯エンジン六十五馬力一臺
一、ブラウンボベリー會社製三十六キロ交流發電機配電盤其他發電用に對する用具一切備付のもの(現在二千燭光點火しつゝあり)
一、製吸入瓦斯エンジン(十馬力一臺)(十馬力一臺)
一、セントヒュガルポンプ(十時四臺)(一時五十尺付)附屬十時鐵管
一、其他英國製鐵板製
一、精米機及シャフト皮車數個
右安價に賣却仕り候
業安達商會 電話長一九一七番

旅行用具 東京製鞄物
京城本町二丁目 居田範店 電話五九四番

白神洋行
鐵材 鋼鐵 浪板、平板 針金、洋釘
ペイント、油類一切。コークス、セメント、耐火煉瓦、モルタル、スコップ、シャブル
帶革、ロープ 機械、工具 衛生品 其他
新田帶革總代理店 京城

おもちや
土藏あり保管安全
勸業債券割引買入 明治町二丁目八十七番地 支那領事館前通 南質店
別に丁寧に預る

最新刊
◎進むべき道 南條文雄 一、三〇
◎手工科新教材集成 二、八〇
◎小學校に於ける校外教授と遠足 一、一〇
◎兒童の實驗心理に基ける理科教授の實際 山本貞之助 一、〇〇
◎綴方子作法要義 一、九〇
◎新編珠算提要 中村貫高 八五
◎有職故實辭典 加藤貞次郎 二、五〇
◎臺灣の歌謡と名著物語 平澤丁東 一、〇〇
◎青年團及共教育 湯原元一 八〇
◎ロワツエ 京都哲學會編 一、二〇
◎大正六年度朝鮮職員錄 朝鮮總督府編 五五
◎臨原、助歴代鑑 中村秋湖 七〇
◎修養の力 青淵 五五
◎妻君百話カ房の研究 一、〇〇
◎滿蒙現勢圖 六五
◎諸體かな帖 島村不老 四〇
運動具文房具澤山に入荷致候御報次第早速御送り申上げます
京城本町一丁目 大阪屋號書店 振替京城一五七三番

◁◁長生不老萬病共治▷▷

△開店披露▼

拜啓各位益々御清健之段奉賀候陳者高麗人蔘は萬病回春の靈劑即ち人身を健康ならしむる精力を增進し補血保氣其効果を奏する事迅速確實なるは今日に至る迄各當用者諸氏及び各醫學博士既に實驗證明せる所なれば今更陳述を要せずと雖も元來高麗人蔘は支那にて多く此を需用す其高麗人蔘を尊重する一例を擧ぐれば支那南方にては普通高麗人蔘に金銀の裝飾を加へ之を顏にし我邦の時計の如く前に下げ茶又は水を飲む時は必ず一度此を浸し又貧乏者等は一村共同の井中に浸置する等枚擧に遑あらず是れ高麗人蔘は人身を不老回春萬病共治の効能あるを信ずるが爲めなり昔日は高麗人蔘の當用者極めて少數にして僅かに支那人の需用に止りしも今日に至りては廣く世に普及せられ高麗人蔘精、高麗人蔘粉末等種々の名稱を付し各當用者に賣却されつゝあり然れども其原料は高麗人蔘其物なれば効能に付ては何等の差異無し總て是等の商人は高麗人蔘農作者即ち弊會等より買收賣却するものなれば極めて高價なるに付き弊會は深く此を憂ひ當用者諸氏をして頗る廉價にて此靈藥を得せしめんと欲し一方には高麗人蔘の耕作に勉め一方には左記の所に販賣店を開始し遠近當用者諸氏の便宜を圖り極めて廉價に迅速に提供せんとす希くは多少に不拘一應御試用被下度。右御案内旁御勸告申上候 早々

朝鮮京城明治町二丁目
高麗人蔘商會
主 黄[illegible]
電話二九九二番、振替京城五八六番

政界及び財界二大巨人の自叙傳 毎號連載

日本一

海外發展の三人男 成立 志賀重昂
成金總まくり 野村胡堂
◎銀行界の三人男…神長倉眞民
◎寺內首相の運命觀…福田雷水
◎一日一艦…島田城南
◎風光論…田中子爵
回顧八拾年 大隈侯自傳
青淵自傳 澁澤男
◎新選良中の實力家…後藤鶴水
◎南洋事業界の雄…丸山楊華
偉人崇拜論 仲小路農相
◎典型的の紳士…懸賞募集
大阪陣 福本日南
意外錄 和田垣博士
◎花盛りの美人…佐久間まち子
◎實生活とマラソン競爭
小唄供養 小杉天外
◎講談日本一…丸一小金井蘆洲
◎講談雷門助六…錦城齋典山
內容豐富日本一 高尚なこと日本一 有益なこと日本一 面白いこと日本一 廉いこと日本一
發兌 南北社

心臓脚氣 特効藥
ペリベチン
定價 10.30.50
特約店 京城府太平通二ノ三〇五 木村藥舖

支那の形勢

▲張氏入京と周圍の注目
戰亂を起さずして目的を達せんとの野望?

張勳氏は部下の兵若干名を護衛として引き具し北京に來れり蓋し氏は表面獨立運動に參加せざるも之が煽動者の一人と看做され居れるを以て深甚なる興味を以て迎へられつゝあり而して氏は調停者として戰亂を起さずして目的を達せんとの見地より別個の地位に立てるものと信ぜらる(北京特電)

▲黎總統へ辭職勸告
參議院議員丁世嶠氏外一名は黎總統に對し此の際潔く總統の職を辭し國會解散の難題を避くべしと慫慂せり(北京特電)

▲衆議院飽迄持續に決す
一日參衆兩院議員聯合の意見に基き二日正午衆議院は臨時議會を開きたるが▲政學會は此の際督軍の目標となるを避くる爲め閉會すべしと主張し▲益友社は休會すべしと主張し民友會及び丙辰倶樂部は是れに反對したるが前二說は票決の結果孰れも不成立となり結局議會は飽迄死守し政府より解散の命ある迄は持續する事に決したるを以て總統の立場は一層困難となりたり猶當日の出席議員數は三百二十七名なり(北京特電)

▲兩督軍の政府維持
廣東來電に依れば廣東廣西兩督軍は北京政府を維持すべく計畫しつゝあり▲又一方共和黨員は大總統及び國會を擁護すべく計畫しつゝあり(上海特電)

▲薩鎭冰の政府擁護
海軍總司令薩鎭冰氏は中央政府擁護に決し各艦長に夫れ〴〵防務を命令せり(北京特電)

▲夏秘書長等の謝電
總統府秘書長夏壽康氏秘書哈漢章氏等は一日李經羲氏に對し「吾等をして各省より人材の任用を誤れる批難を受けしめ且つ時局を紊亂せしめたるは其の罪吾人にあり吾人は正しく制裁を受くべし」との電報を發したり(北京特電)

▲王氏の軍局處理承諾
黎大總統は參謀總長兼警備軍司令長官王士珍氏に對し軍局を處理するの全責任を委ねたるが王氏は之を承諾せり(北京特電)

▲北京公使館會議
北京に於ける一日の各公使館會議は流會となり二日午前再會し▲關稅剩餘金を支那に交附するは相當の考慮を要する事及び在支那各國の利權保護に對する方法等を協議したり(北京特電)

◉日本の政策と支那人の感情
ゼンクス博士所論(續き)

◇眼前の繪畫 日本は支那の隣邦であるけれども、米國は遠く萬里の海洋を隔つると云ふ理由の下に日本に於ける一部の論者は、日本を以て米國に比して支那の啓發指導に關し優勝の地位に居るものと做して居る。此の主張は一見頗る尤もなるが如く、吾々米人すら間々成程と肯づかせらるゝ者もあるが、然かも斯くの如きは實際と對照して決して當を得たる說と云ふ事はできないと共に、實に日支間の紛爭解決の根柢に横はれる誤解である。支那人をして言はしむれば、支那を最も良く理解せる者は日本人に非ずして、幼時よりして支那に滯在し、祖國に對して愛國の至誠を有すると同時に、支那の現在及び將來に對して同情を有するところの、僅少の英國人乃至は米國人であると云ふ事であるが、或はさうかも知れぬ。思ふに支那は日本の眼前に懸れる美麗にして價値ある繪畫である。日本は其の距離の關係よりして其の色彩を窺ふに止まり、決して其の價値を解せざるものと言ふべきである。

◇自負せる日本 支那の新政府は、主として動搖せざる確乎不拔なる支那固有の道德に依りて成立したるものにして、大總統黎元洪、段祺瑞、陳錦濤、伍廷芳、梁啓超、蔡鍔等の諸氏は、其の樹立に於ける功勞者である。人或は日本政府が此の新政府の樹立に貢獻する所ありしかの如くに云ふものがあるが、これ甚しき誤解である。日本は世間に於て何等感謝を受くるの理由なきのみならず、反つて其の進行を妨害したのである。加之、日本は從來拭ふ可らざる怨恨を支那人より受けつゝあるものであつて、支那人は現今に於ける閔歩の艱難と屈辱とは、日淸戰爭の直接の結果なりとし、各國の利權爭奪は此の時に發したものとなしつゝある。‖ゼンクス博士は夫より日支交渉、帝政問題に於ける支那人の反日本的感情を敍したる後曰く‖帝政の運動は袁の死と共に消滅したりと雖も、日本に對する反感は遽かに消ゆべくもあらずして、ボイコットは到る處に起つた、吾人の見る如くむば、愛國貯金及び愛國公債は消極的敵愾心であつて、支那の國民的統一を刺戟し、ボイコットは積極的敵愾心にして、日本の不正なる野心を抑壓するの力があつた、日本たるもの決して多く自負する所あるを許さないのである。

◇蟲の良き日本 ゼンクス博士は更に一層忌憚なき筆鋒を以て、日本の對支策を批評し帝政問題に對する日本の態度、山東の革命運動に關する日本の行動等を指摘し而して日本人中に、支那の開發に就て日米提携の必要を說く者あるを冷嘲して『日本人は米國の資本はこれを在支日本人を通じて投ずべしと主張して居るが、斯くて米國人を利用して支那の利權の割讓を得むなど、餘りに蟲のよい話である』とケンもホロロに言ひ放つて居る。啻にそれのみでなく、彼れゼンクス博士は、芳澤參事官が北京に赴任せんとするに臨み、東京に於て外交記者團に對し試みたりと云ふ演說中の數節を擧げて『輕卒にして偏頗的なる言辭』と評し『斯くの如き外交官を以てしては、日支の親善は永久に得て望む能はず』とまで極言して居る。要するにゼンクス博士の發表した意見は、支那人の對日感情を通して、彼れ自身の對日感情を顯はせるものであつて、これ軈て多數米國人の支那關係に於ける對日感情の反影と見るべきであらう。米國の支那に對する經濟的活動は、今後愈々赤裸々に其の眞相を發露し來るべく、支那に於ける日本の競爭者は英國にあらずして、米國であると云ふ時が或は來るであらう、否必ず來るであらう。博士ゼンクスの言說の恐ろしく露骨なる所に須らく吾人は鑑みるべきである(完)

◉露國は日本の好市場
しか歐洲以來燐寸缺乏の爲め各工場は閉止し特に波蘭に於ける五十餘個所の製糖工場が[illegible]し政府專賣の獨り砂糖に留まらず皮革大蠟燭の爲め靴の如き男子物は一足六十留、婦人物は同百留以上と云[illegible]於ては高價ながらも猶石炭を使用し居るもそれ以往に到りて石炭は買ふ事すら能はず[illegible]性に基因するならんも畢竟其財源が意外に豊富なるを證明するものにて將來の同國は支那と共に我國に對[illegible]其序幕を開きたるのみにて眞の革命は猶今後に在る可し露國の砂糖缺乏に際し我商業者は[illegible]港、臺灣の二糖中極力香港糖と競爭する積りなり聞くが如くんば香港糖は非常なる悲境に在る趣なれば將來[illegible]で内地に向へり(釜山特電)

◉月末朝鮮郵貯
五月末朝鮮郵貯現在高は人員百十一萬一千百三十一人金額一千零四十八萬二千九百九十八圓にして朝鮮としては新記錄を示したるが之大正五年度の利子三十餘萬圓を附加せしためにて事實上の預入增加は内地人側に於て更衣期其他のため多からず鮮人側は農作の收穫等なき際として預入少なきに原因する由尙ほ内鮮人別に擧ぐれば内地人二十六萬二千百八十八人金額八百四十萬六百十八圓朝鮮人八十四萬八千九百四十三人金額二百零八萬二千三百八十圓にて鮮人側の貯金は其の約七割方睡眠貯金なりと

◉朝鮮醫學會總會(第二日)
第七回朝鮮醫學會總會は前日に引續き豫定の通り三日午前八時三十分より京城醫學專門學校樓上に於て開催さる芳賀會長席に著き會長會務係編輯係來賓等名士席に列り座席定まるや講演十分間討論三分間として豫定の演題に就き各自其の研究する所を披瀝す此に列席者約百七十名全鮮醫界の精鋭互に何れも前回に比し進步の跡歷然たるものあり多年研究を發表し演說討論し相互に裨益する所多大なりしと芳賀會長は語る▲一日には遠來の來賓に對し寺內總督より朝鮮ホテルに於て晩餐の饗應あり二日亦一般會員に對し山縣政務總監は同園に於て茶菓の振舞あり一同何れも滿足の意を表し藤田前會長よりは本會に對し獎學資金として一千五百圓を寄附されたりと午後一時講演を打切り更に二時過ぎより引續き講演に移りしが京都帝大醫科大學教授松下博士は『接種法に就て』と題し有益なる講演を爲し其の他の會員諸氏何れも熱心に講演し午後六時過ぎ副會長森安博士閉會を宣し一同退散朝鮮ホテルに於ける懇親會に赴きたり本會主なる來賓は京大松下博士同大宮入博士東京藤田會長滿洲小口博士、松井、小山兩教授等にして第二日各氏の演題左の如し

△二十七、朝鮮人の腸寄生蟲調査(第一報告)小林晴治郎君、佐藤剛藏君(京城)△二十八、既往五ヶ年間に於ける精神病患者の脚氣合併症に關する統計的觀察、池田篤君(京城)△二十九、自家考案耐力計[illegible]中原[illegible]君(平壤)△三十、特發性角膜脂肪變性症に就て、佐竹秀一君(京城)△三十一、眼動脈注入に依る眼球及視神經血管の檢索、内田孝藏君(釜山)△三十二、角膜の培養、星野龍三君(京城)△三十三、小口氏病の一例、齋藤季雄君(全州)△三十四、[illegible]の中間型に就て、來賓醫學博士小口忠太君(滿洲)△三十五、接種法に就て、來賓醫學博士松下禎二君(京都)△三十六、若年性扁平疣贅に就て、一番ヶ瀨彥次郎君(京城)△三十七、興味あると信ずる一、二患者の供覽、[illegible]君(京城)△三十八、[illegible]、藤田宗貞君(京城)△三十九、[illegible]、佐藤小五郎君(京城)△四十、[illegible]の一例に就て、松本[illegible]君(大邱)△四十一、[illegible]△四十二、[illegible]△四十三、[illegible]△四十四、[illegible]△四十五、[illegible]△四十六、[illegible]△四十七、[illegible]△四十八、[illegible]△四十九、[illegible]△五十、[illegible]△五十一、[illegible]△五十二、[illegible]△五十三、[illegible]△五十四、[illegible]△五十五、[illegible]△五十六、[illegible]△五十七、[illegible]△五十八、[illegible]△五十九、[illegible]△六十、[illegible]△六十一、[illegible]△六十二、[illegible]△六十三、[illegible]△六十四、[illegible](續)

◉全鮮自動車現況
大正六年五月警務總監部調査に係る全鮮乘合自動車營業個所は三十三にして其の所有者事務所々在地營業區間左の如し

所有主	事務所々在地	區間
李哲教	京畿道利川郡邑内面	長湖院、忠州
李哲外一名	同上	京城、長湖院
[illegible]	京畿道水原	水原、驪州
[illegible]	京城南大門通	京城、利川
[illegible]	京畿安城郡	平澤、[illegible]
[illegible]	忠北淸州	淸州、鳥致院
[illegible]	同上	淸州、忠州
[illegible]	忠北淸州郡	淸州、美江
[illegible]	同上	淸州、忠州
[illegible]	忠北永同郡	永同、茂朱
[illegible]	忠南天安郡	天安、洪城
[illegible]	忠南公州郡	公州、鳥致院
[illegible]	同上	公州、論山
山本外一名	全北全州	全州、南原
[illegible]	同上	全州、金堤
[illegible]	全南麗水	麗水、順天
[illegible]	全南光州	光州、松汀里
[illegible]	慶北迎日郡	浦項、大邱
[illegible]	同金泉	金泉、醴泉
[illegible]	大邱	大邱、安東
[illegible]	晋州	晋州、馬山
[illegible]	三千浦	三千浦、晋州
[illegible]	金海	金海、仙岩
[illegible]	晋州郡	晋州、金泉
[illegible]	春川	春川、京城
[illegible]	沙里院	沙里院、海州
[illegible]	海州郡	海州、[illegible]
[illegible]	海州	海州、[illegible]
[illegible]	鎭南浦	鎭南浦
[illegible]	平壤	平壤、成川
[illegible]	新義州	新義州、義州

以上の外官廳自動車京城に六臺全北一臺平南二臺あり尙此外自家用自動車全鮮にて二十三臺ありと

◉旅客荷物制限 日滿鐵路
聯絡旅客手荷物制限は曩に報道したる通りなるが今回更に一等旅客の手荷物にも制限を加ふることゝなり左記の如く限定されたり

▲一等二百七十二斤▲二等同▲三等百卅五斤

人事消息
▲小松綠氏 三日夜入京
▲土師勘四郎氏(旅順要港部參謀長) 三日夜入京
▲宮崎又次郎氏(江原道第二部長) 三日朝退京
▲竹内德三郎氏(久原技師) 同上

◉牧山代議士東上
朝鮮公論社長牧山代議士は來る可き特別議會に出席の爲め四日午後七時五十分南大門驛發列車にて出發東上す可し

◉藤田總監歡迎會
前總督府醫院長軍醫總監藤田嗣章氏今回の入京を機とし六月四日午後七時より朝鮮ホテルに於て有志の歡迎會を催すべしと

◉京畿繭共同販賣計畫
京畿道にては今回管内繭共同販賣を爲し總て生產繭は府尹郡守の監督指導により各種養蠶組合をして共同販賣を行はしむる事とし繭は一定の日限に一定の場所に組合又は個人共代表者をして取纏めて持寄る事とすべし繭は一等二等三等四等等外品等に技術員をして等級を鑑別せしめ計量の上乾燥を行ふ等共同販賣の方法は前年と大差なきも内渡資金の融通即ち各金融組合に交渉の繭受入れの際認定價額の五割乃至七割の前渡金を爲し得る樣豫め手配し一層斡旋に努力すべきことゝせるを以て其の販賣量に於て多大の增加を見るべく又春繭は六月下旬より出廻り七月には出盛りに入るを以て共同販賣は七月上中旬頃に行はるゝもの多き見込なり因に共同販賣を行ふ府郡は春繭にありては六月十三日夏秋繭に在りては七月卅三日秋蠶繭に在りては八月二十日迄に京畿道廳に到達する樣其の販賣所販賣希望期日及販賣豫定量を申出づべき事と成り居れりと云ふ

▲督軍連は大分鼻息が荒くなりかけた▲扨て此の督軍連が斯う大仰に獨立した處で然らば其の任地の全省が獨立したかと云ふ事になればチト問題だ▲苟も一省には省議會もある省長や其他の文武官もある▲其處で此等が皆一致して獨立したならば成程其の一省は獨立したものと見ねるが▲督軍が獨り合點で獨立した處で其れは督軍個人の獨立で未だ全省の獨立とは行くまい▲湖北や江西や浙江や福建、山東、山西、吉林の樣な各督軍が別に手兵を以て居らぬ處では▲よしや督軍が獨立を宣言した處で實力を有つて居る各師長や文武官や軍隊が直に督軍の命を遵守するや否や問題である▲殊に各地とも省議會には多數の民黨が頑張つて居るからオイ其れとは承知すまい▲雲南、貴州、廣東、廣西などには民黨派が多く督軍に對しイザとなれば一寸仕兼ねまじき形勢である▲湖南の吳光新督軍は段君の女婿であるから獨立は宣言したが督軍以下は皆民黨だから之れも鳥渡實行はむつかしからう▲併し乍ら民黨側にも軍隊のないのが一大弱點だから眞正面からブツかる事は出來まい▲民黨の首領連が支那多年の疑問であつた南北分裂を此の際實行しやうとして居るのは督軍連の獨立よりは以上の大問題だ▲事實に於て南北分裂が現はれる事とならば矢ツ張り大革命になる譯だ▲要するに兵力が[illegible]つか敗けるかの面白い勝負だ▲議會も愈々[illegible]屈を憤慨して解散を避けて[illegible]する相だからもう一と混亂せずば止むまい▲若し斯うならば電報戰が實戰に變つて來る丈けの事だ▲待ち兼ねるのは張勳と馮國璋の行動だ何と云つても大立物だからナア

◉南言北語◉
倪嗣冲曰く懷芝曰く張作霖曰く趙倜曰く何曰く何曰くと獨立が大流行の昔

◉臨時外交調査會
天皇に直隸し國家最高の政策を樹立すべく設置さる、會員は朝野有力者

三日午前十時永田町首相官邸に各大臣參集臨時閣議を開き首相は歐洲戰爭の終末期に際し一致する官民合同擧國一致の政策を樹立する爲め二三黨首と會見之れが賛同を求めたるが猶其の具體的の方法を講ずる爲め特別機關を設置したしと述べて其の成案を示し閣議の同意を求め審議の上決定せり右特別機關は臨時外交調査會と稱し宮中に置き 天皇に直隸し外交に關する重要の事項を調査審議し國家最高の政策を樹立せんとするにあり右委員には三黨首を始め外交に經驗を有し國民に信望ある朝野の有力者を網羅する方針なりと(東京特電)

◉英佛軍の獨兵俘虜數
過去八週間に英佛兩軍の獲たる獨逸俘虜は八萬五千名に達し現兵備に依る敵の九個師團に相當せり(倫敦電報)

い病で困る人
永年難治の胃病も忽ち効能偉大なる家傳秘方の妙藥あり弘く病者へ告げ分與す御困難の方は往復端書で申越あれ詳報す
兵庫縣美嚢郡淡河村下村 藤本初三郎

結核治療幷豫防最新注射液
ツベルクロストーミン
醫學博士百瀨一二先生創製
本品は醫學博士百瀨一二先生多年研究の結果發見せられ結核菌中に含在し吸收を妨碍する蠟樣物質を除却して得たる菌體基質の浮游液にして生體内に於て溶結核菌性抗體を產生せしむべき免疫元たり
本品は生體に注射するに其吸收容易なるが故に從て高度の免疫力を發生せしめ得べし
本品を結核患者の根治的免疫治療並に健康者の結核に對する豫防注射に使用して顯著の効果を奏すべきとは學理並に幾多の實驗に依り證明せらるゝ所なり
說明書は御申越次第送呈す
東京市神田區淡路町
發賣元 風雲堂後藤合資會社

大好評!
土曜、日曜兩日 連夜滿員
京城セウルプレス社長 山縣五十雄先生譯 京城日報連載小說
天活會社特別新撮影
家庭悲劇 過去の罪
先年當地壽座に於て村田正夫、後藤良介が演じ十五日間打續けて京城劇界のレコードを破り亦六月二日より當館に上場して以來連日連夜滿員當京城活動寫眞界のレコードを破りつゝあるは即ち本寫眞なり
世界的連續寫眞
稀代の大冒險大活劇 ポーリン
未だ東京淺草に殘る
舊劇 血櫻七之助 三卷
後五日間限り
六月四日 黃金館

最上醬油
鶴
品質佳良 風味本位
京城府元町二丁目
關西醬油釀造所
電話三九番 振替京城七三九番

露國田技順長の際に日く露國の利益を擁護年額は凡を一百五十萬噸にして北米口に比し甚だしく不足なり
革命政府は社會黨側の要求が他の情勢に餘儀なくせられて砂糖專賣法を實施せんとするが多分實行さるべ
方ならざれば政府は亦た皮革專賣法を實施せんとしつゝあり又燃料の缺乏も甚しく可[illegible]ものにて哈爾賓附近に
したが外世界は[illegible]現在露國は猶少しも疲弊の風なく餘裕綽々たる者あり此れ一は悠揚なる國民
[illegible]勉なること勿る緊要なる問題なる可し革命は已に終熄せるが如く信ぜらるゝも今や唯だ
も斯る場合に於ては同國政府は必ず輸入品に重税を課す可く採算上有望ならざれば我社は滿洲輸入砲なる香

○長官事務官通過　宇佐美內務部長官、權藤、金、趙の三李王（大連）內陸

洲北部▲指度七百五十三糎▲進行方向東北東▲氣壓中南西風強し降雨あるべし▲警戒區域咸鏡南北道沿岸及び

快輪電光と飛び　疾風と過ぎつ

歡呼聲援滿場動搖めく

本社主催 全鮮自轉車競走大會

既報の如く本社主催全鮮自轉車競走大會は押すな〳〵の大盛況、三日の午後の訓練院は場內充滿の觀衆であつた、それに競技はいよ〳〵高潮に達し觀衆の力瘤も亦猛烈を加へて場內の緊張りは何時となく張り切つゝ

▲人雪崩を打つ　凄まじき後の方では此の破れむばかりの人氣はありがたいがこれでは到底競走が能きぬと頭を掻き〳〵引き下がるもあつた、西選競走は更に續いて午後二時二十分からは十五週の第十三回競走が始められた、續いて二流選手の豫選から可愛らしい小供の競走、爺さん競走、桃太郎行列、等よろしくあつて愈よ四時卅五分からは

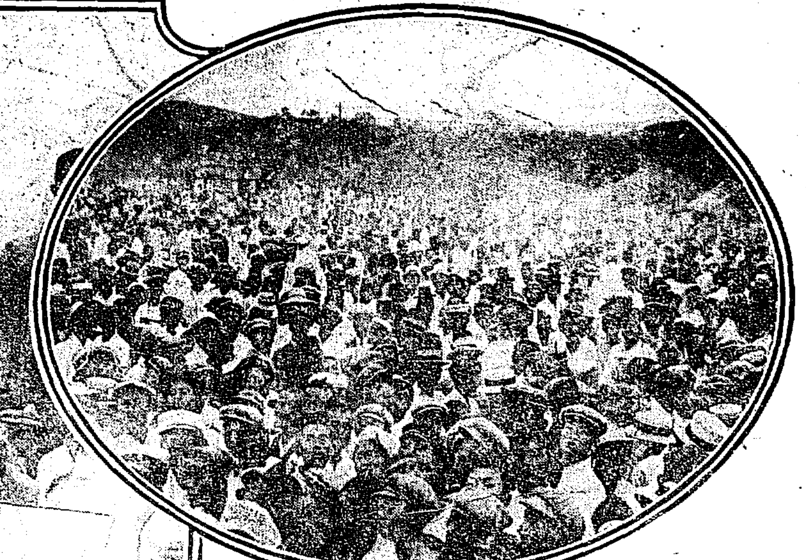
▲責任競走が始まつた、其の第一は第十九回目の第二流の乙選手に係る競走で場內物凄きばかりの聲援拍手の聲がどよめき渡り歡呼の聲は疾風の如き選手の上にのびせかけられた、此の競走で優勝旗を貰つた人は三平君の一等で、次いで二等の森下君、三等の高啓鉉君も賞品を貰つた、次、第二回目は三選手八名の十五週競走、これにも熱狂した群集が

▲鯨波をあげつゝ　聲援し優勝旗を貰つた人は太平通相川パン商の相川君（三）と二等の賞品を貰た丁海宗君（二八）（仁寺洞の京城自轉車店）と、明治町內田三義和の支那人陳福君であつた、次に第三流の甲選手の六名は五時廿五分から場內卅週の大競走に移りこれも破れるが如き喝采裡に京城平井彌吉君（二〇）が優勝旗をとつた（車はケンネット）そして二等はケントに乘つた平壤の金東赫君（二〇）三等が南大門通の金老馬君（二〇）のケンネット號であつた、此の時（午後五時卅五分）

▲滿場の人氣は　彌が上にも沸騰點に煽り上げられトラックの裡に砂塵濛々たるの壯觀を呈した、さてまた競走は此の日の橫綱株に入り愈よ六時十五分スタートを切るや滿場の人氣は非常なものであつた、而して榮ある此の日の五名の選手は先づラーヂ號に乘れる日米商會の嚴鳳童君をはじめケンネット號に乘れる大澤商會の鄭谷清君まつた同君の弟にてこれも大澤に勤める黃壽同君續いてケーオーに乘れる京城自轉車店の鄭九韻君また長谷川町中西商店の足立才一郎君の錚々たるもの、何れも

▲覇を半島に稱へむとばかりその意氣込みも凄まじく號砲一發午後五時四十八分スタートを切るや盛んなる拍手は滿場にどよめいて愈よ場內四十週程十哩の大競走は始まつた、初め選手は各自愼重の態度にて悠々雁行の姿となり滿場到るところの聲援を浴びつゝ一週四十秒乃至三十八秒の速力を有ちつゝあつたが六時十五分に至つてあと二回となるや車輪は俄かに矢の如く飛んでヘビー!!ヘビー!!疾風と過ぎ

▲電光と飛んで　一週三十五秒、三十秒、二十秒!!遂に六時二十分、全週二十七分にて競走し了つた、かくて一等の月桂冠を戴いた選手は大澤商會の黃壽同君つゞいて二等が日米商會の嚴鳳童君三等が京城自轉車店の鄭九韻君の手に落ちた、閉會の訓練院はまた滿場の人波かくて全鮮自轉車大競走會は滯りなく無事に萬歳聲裡に完結を告げたのである（三日午後七時）



歡呼熱狂せる群衆

一流選手競走の優勝者　黃壽同君

◎燃える物の性質を考へよ

爆發性危險物の取扱に就いて

○○○中央試驗所技師　今津明氏談○○○

さきにも述べた通り酸素がある所で物が發火點以上に熱せらるゝと燃ゆるのであるから燃えてゐるものを消すには（一）空氣の供給を不充分にするか或は（二）燃えてゐるものを冷してその溫度を發火點以下に下げるかすればよいのである、木材その他普通の物が燃えてゐるものに水をかけると消ゆるのは燃えて居る

▲物の溫度を　下げるのと水の層燃えてゐるものを被つて空氣の供給を不充分にするのと二つの効に依るのである然るに石油や、エーテル、二硫化炭素、油類等のものになると水をかけても水の上に浮くから却て火事を擴げるのみで消えない、又金屬ナトリウムや金屬カリウムになると水がないと燃えぬが水をかけるとよく燃えるそれだからよく燃えて居るものの性質を考へずに只一概に水をかけても消えるものではない、かゝる場合には

▲砂をかける　のが一番よいのだからランプを使ふ家庭では消火用としてバケツに砂を入れて準備して置くのが必要である又消す方法としては濡筵或は手布の類で燃えて居る所を被ふて空氣をやらぬ樣にするのもよい然しこの場合には充分消えてしまう迄よく抑へて居らぬといかぬのでもし少しでも燃えて居る內に油函を引くと石油を誘げて全部が一時に燃え出すから危險である大藥屋又は石油類、油類等の多量に火の附いた樣な場合は人工的でこれを消し止める事は出來ぬのであるからこんな時にはその

▲火事が外に　移らぬ手段を講ずるより外に途は無いのである、一體火事は燃え初めに消すと消し易いのであるがこれが燃え擴がると消すのに骨が折れる爲め往々大火になるのである、そこで燃え初めに消す即ち火事が起ると直ぐ消すと言ふ事が一番肝腎である、西洋では火事が起ると直ぐ消防隊に知らせる樣に處々に火災報知器が置てあつてそれを打てば直ぐ消防隊に知れるので消防隊は直ぐ自動車で驅け付けるから火事が起つてから消防隊が驅け付ける迄の時間は極く短いのであるが

▲日本家屋は　木造である上に未だこれ等の設備が完備して居らぬ爲め往々大火のあるのは誠に遺憾である、どうかして一本でもこれ等の設備を完備させたいものであるそれから火事は何にしても不注意から起ることであるから一般の人が火事を起さぬ樣に常に充分の注意を拂ふ樣にすることも肝要な事である（をはり）

◎尊定師葬儀變更

松尊定師の密葬は六日に變更せり（大阪特電）

◎休職海軍大尉發狂して自殺

筑波艦沈沒事件にて休職となりし海軍大尉柿田孝二は二日午後五時鳥取に歸省中發狂し池に投じて自殺せり（大阪特電）

◎チャンピヨン氏飛行中に故障

三日朝大阪を出發せるチャムピヨン氏は飛行中パイプに故障を生せし爲め四日市に着陸し機體を分解し修繕に着手せり（大阪特電）

◎百六十戸燒失

新潟縣羽黒町の火災

二日午後十一時新潟縣三島郡出雲崎町字羽黒町芳川郭四郎方より出火三日午前五時鎭火せり燒失戸數百六十戸に達す（大阪特電）

◎富豪殺し嫌疑者捕はる

昨年全南谷城郡谷城里にて數十萬圓の資産を有する鮮人富豪徐道鉉が十數名の強盜に慘殺されしが爾來谷城憲兵分遣所にては極力犯人捜査に努めたる結果漸くにして此程二名の嫌疑者を逮捕するに至れり道鉉は幼少の頃極貧洗ふが如く他より移住し來りたるものにて克己勉勵の結果數年前に至りて漸く數十萬の財産を築きしが元々貧の育ち故使用する小作人等に對しても苛酷に當り又一般公共事業にも冷淡にて氣受よからず從つて世間の評判は頗る面白からざりしかば或は平素同人に對して私怨をふくみ居たるものゝ所業には非らざるかと傳ふるものありと

◎慶南梁山大火

慶南梁山郡下面新里慶金溶溺方より五月二十三日午後四時頃出火して部落に延燒し同七時頃鎭火せしが全燒三十戸五十三棟に達せり損害約三千八百圓温突の焚火より失火せるものならんと

◎旅役者の自殺

▷舌を咬み切りて▷

山口縣美禰郡於福村當時住所不定新派俳優里見良之助事木村稔一（二八）は零落の末五月二十九日全南榮山浦に到着したるが頼るべき人もなければ一二度舞臺にて顏を合せたる事のある岩本丁夫方に尋ね行き俳卒就食を振舞はれ度しと哀願するにぞ岩本も左程懇意に在らざる男なれども快く承諾し妻に命じて朝食を運ばしめたるに何となく物思ひに沈みて食事も進まず僅か一二杯を食し終り奧座敷にて休ませて貰ふと座敷に入り岩本夫婦は表の間にて仕事中苦悶の聲聞ゆるより岩本は奧に驅け入りて見れば木村は留針にて咽喉數ケ所を突き刺したるも死に切れず傍に在りたる火箸の先を折り曲げ之にて舌を引出し約一寸程噛み切り打倒れ居るを發見し直ちに其筋に訴へ出で手當をくへたれば生命には別條なきも治療に一ケ月を要する由自殺の原因に就ては何分舌を噛み切りたる事とて言語通せず不明なるも現在の境涯なればかなみたる末此舉に出でたるものならんと

◎僞刑事捕はる

全南谷城生れ常時住所不定金準基（三七）光州東門通り中原川（三七）樓門里金奕同（三〇）孝泉面校村里申太洙（三〇）の四人は共謀して瑞坊面三角里酒幕鄭京述方へ赴き酒を呑んだ末無一文なるより自分等は光州署の密偵なりと稱し庭先に豚の背の落ち在りたるを拾ひ來り豚を密殺せし形跡あり拘引すべしと云ひ捨て出で行き程經て又舞戾り若し金を一圓五十錢出さば免除すべしとて脅迫せしも鄭が之に應せざりしは巡査金基準は刑事なりと稱して纔かに三月二十五日光州大市にて申太洙捕中孝泉面の某が釜を賣りたるを見て其釜は目下捜査中のものなり故に取調の必要ありとて李某より一圓を捲上げ各所にて刑事巡査と稱して惡事を働らき光州署に檢擧さる

◎狂犬に咬まる

大田公立普通學校第四年生申鉉德（一七）が二十八日午前八時頃大田外南面東山里附近を通行中突然一頭の野犬何處よりか飛び蒐り同人の左手小指內側を咬傷せられたる爲め附近の鮮人共寄つて集つて其の野犬を撲殺し直ちに大田警察署に屆け出で其の死體を解剖に附したるに正しく狂犬なりしより大騷ぎとなり其の筋へ狂水病豫防注射を依賴したる由なるが鉉德は朝鮮醫師の診療を受け既に其の傷口は全快したるも學校長等は潜伏期の恐るべきを說き聞かせ日本醫師より注射を受くべき旨懇々說諭する處ありたりと（大田）

◎京城の不良少年（一）

▽年々增加する

▽巧妙なる犯罪

京城に朝鮮人の不良少年が徘徊して組織なく小泥棒を働いてゐることは屢々記載する所であるが、近くは本町警察署で檢擧した若草町の古物屋中村定助方を巢窟にしてゐた三丁目古物屋大塚ふみ方を根據として

▽九人組の一團や、黃金町てゐた一組の如きは先づ目に餘つて逮捕されたやうなもので此の他に單獨行動や二三人連れで各町を荒し廻つてゐるものは幾らでもある、一體都會地に不良少年が集まつて來るのは今更のことでなく內地の大都會など其の類例は決して珍しくない、最近調査された其筋の統計に依れば大正四年中京城本町、鍾路兩警察署で取扱つた犯罪事件は窃盜罪が最も多數で其の

▽被害總件數が　三千五百九十二件であつたものが大正五年度には一躍五千五十七件の指數を示して來た、僅か一年間の短日月中に一千四百六十五件も增加したのは洵に侮るべからざる現象である而して斯く多大の窃盜事件が殖ゑつゝあることを假りに內地の大都會に比較して觀るに內地の夫れのやうに大外れた巧妙なる手段を弄して各所を荒し廻るやうな

▽所謂大賊と稱　するものは京城では甚だ稀れである、偶に被害金品額一千圓以上に亙るものもあるが夫れは月毎に發生する釜一個とか靴一足のやうな小泥棒の類に比較したら何百回の中に一回か二回あるに過ぎない斯樣な大泥棒になると大抵檢擧されてゐるが、警察官憲でも持て餘してゐるのは例の不良鮮童である、前記の盜難被害の大部分なるものは全く此の鮮人不良少年の仕業と見て差支へない

▽穢い風をした　鮮童が綺羅に飾り立てられた本町通りあたりの店頭に佇んで硝子窓越しに店の內を覗つてゐるのを見受けることがあらう、彼等は眼前に人影さへゐなかつたら何でも攫つて行く、官舍であれ、商店であれ表通りでも裏長屋でも選ぶ所はなく隙さへあつたら炊事場にも玄關口にも遠慮會釋なく立入つて手當り次第品物を選ばずに盜んで行く、昨今金屬類の騰貴した關係上炊事場では鍋、釜、鐵瓶、すき燒鍋、アルミニューム製の炊事器等は言ふ迄もなく

▽大袈裟なもの　になると炭や石炭の這入つてゐる叺や食物類迄何でも持つて行く、玄關口であつたら先づ覘ふのは靴である、靴は贓物としても最も故買者が多いと見え一度盜難に罹つた靴は容易に發見され難く又古靴屋では之れを改造して原形を毀して終ふから耐らない、次は洋傘と帽子とである

○本派本願寺別院（若草町）　四、五、六日三日間午後二時より三日教說教、四日午後八時より月曜講演

□給仕入用　高等小學校卒業者　十七歲以上、履歷書携帶本社編輯局に來談の事

顧問高島平三郎先生

コドモ

幼年雜誌　良友

七月號

學校に家庭に一番信用ある教育的雜誌

一冊十二錢　六冊六十六錢　十二冊一圓二十五錢　郵稅（良友一錢 コドモ五厘）

東京小石川水道町　コドモ社　振替東京二九六三　電話番町六一八番

最寄書店になくば本社へ申込あれ

小學程度の物として最も適切

東京法律事務所 特許課

時代顧問　新案登錄　商標意匠

東京 京橋 新肴町一　振替東京二六一二七　電話京橋〈一五四〇番 長三〇四番〉

鑑定無料　特許要錄進呈

特許辨理士辯護士 吉田三市郎　特許辨理士辯護士 田坂貞雄　特許辨理士工學士 中川五郎吉　特許辨理士辯護士 阿保淺次郎　特許辨理士辯護士 佐々木藤市郎

右京城學校組合議員候補者として

高木壽

最適任と認め之を推薦す

京城有權者有志

太陽

六月號　定價卅五錢　郵稅三錢

政界の表裏　三黨の三思案……無名隱士

◇自給自足經濟政策を排す……堀江博士

◇敎育時言……[illegible]

■一案前混沌の露西亞……內田魯庵

■本邦化學工業を如何せん……鴨居博士

■戰後米國參戰の影響……蜷川博士

◇戰後の世界平和耐久策……泉哲

■總選擧の回顧的批評……浮田博士

◇選擧所感……小川博士　◇選擧の實驗……副島博士

■總選擧の結果と政友會の態度……原敬

◇逐鹿場裏と新代議士……[illegible]　一宮楚川

◇選擧法改正意見……

■帝國有財產整理論……澤來太郎

■本願寺論……東亞子

◇支那を得ざる政府……林毅陸

◇大に聯合國を援助せよ……東鄕男爵

◇老女優サラ・ベルナール……厨川白村

◇蛇に關する民族と傳說……南方熊楠

■「都會へ」（社會劇三幕）……坪內士行

東京振替　博文館　本町　京東二〇四〇番

移轉廣告

弊店從來明治町二丁目の營業所は狹隘に付今回左の處に移轉仕候

京城旭町一丁目七十六番地

朝鮮實業株式會社

京城支店

電話一一三番

內科　小兒科（入院隨意）

京城櫻井町（電話二七一番）

池上醫院

花筐（はながたみ） （一五）

松田竹の島人作

田淵が、京子へ見せた書簡は、過ぐる夜鎌倉八幡前の料理店梅岡でお琴に書かせて、そして投函させた書簡であつたのである。京子は其麼ことは夢にも知らなかつたから、其書簡を讀んで、夫誠信が自分との間に、五歳に爲る花枝まであるのに、身分柄も忘れて、別莊の庭掃除夫の女風情の戀に陷るとかと思ふと、情なく爲つて泣きたい程であつた。

『田淵さん、什麼したら宜しいでせうね？』

『然うですね。』と田淵は應へて、少時思案して後、

『市野さんの御名もありますから、事を暴立てないで、穩に善後策を講ずるが宜しいですね。若し貴女が御無念の餘り、事を大業にでも爲すつて、新聞にでも書かれますと、市野さんの御名譽ばかりではなく、累を會社にも及ぼしますからね。』

『御至當でございます。けれども妾は、彌吉老爺の女が、憎くつて仕樣がございませんわ。身體が惡るいから、老爺に貸してある家屋に置いてくれと賴むもんでございますから、可哀想と思つて、許して遣つて、父子一緒に暮させてゐる恩も忘れて、市野を誘惑するなんて、倘且醜業婦を爲たものは、仕方がないもんでございますわね。今考慮へて見ると彼の婦人は、別段身體が惡るいのではなくつて、夫と屢々逢はうと思つて、夫と話し合ひの上で、別莊へ參つたものかも知れませんわね。』

田淵の言葉に巧く乘せられて、然うと夫の醜行を信じて來た京子は、何もかも惡るい方へのみ考慮を持つて往くやうに爲つた。

田淵は點頭いて、

『或は然うかも知れません。』

『什麼したら宜しいか、貴方の御考慮を伺ひたいものでございますが……』

『では腹藏なく申上げますが、什麼でせう、貴女が一時何處かに身を御隱しに爲つたら。』

『行方を晦ますのでございますか？。』

『然うです。』

『身を隱すと致しますと、暫らくのところ、花枝に逢うことが能きませんでございますわね。』

『そりや什麼も仕方がありませんね、併し今貴女が、御さんと御分れに爲つて、鎌倉の別莊に御出でに爲つてゐるのと、同じ道理ぢやありませんか？』

『そりや然うですけれど、今では花枝に逢ひたいと思へば、直ぐに東京へ參られますし、又乳母が鎌倉へ連れて參ることも能きますが、身を隱すと爲ると、事が解決するまでは花枝に逢うことが能きませんでございますわね。』

京子は、花枝の愛に惹かれて、身を隱すの決心が能きなかつた。けれども一方には身を隱しでも爲たら、夫が迷ひの夢を覺ますだらうかとも考慮へて、心は迷ひに迷うて、丁度羅針盤を失つて、暗夜に航ける船のやうなものであつた。此場合什麼したら可いか、田淵の力を藉りるより外はないとも思つた。

『身を御隱しに爲るに就いては、御書簡を御殘しに爲つて、市野さんの御醜行を御諫めに爲るのですね。然うすると如何に戀に陷ちてゐらつしやる市野さんだつて、元來御子迄ある間柄ですもの、貴女が家出を爲すつたと爲ると、迷ひの夢を御覺ましに爲らんことはあるまいと思ひます。が、其處で私が折を見て、貴女のことを巧く申上ぐるとして、御呼び返しに爲るやうに計らひませう、身を隱して居らつしやるとしても、永くて一と月か二た月ですね。』

メリヤス專門 京城本町二丁目電話六一四番 尾張屋メリヤス店

伊集院新元帥 元帥の徽章を落す

去月二十六日新に元帥府に列せられた伊集院海軍大將は當日宮中から下ると自動車を驅つて各皇族及び海軍の高官を歷訪し意氣揚々と歸邸したが一寸ふと氣が付くと其日初めて佩用した元帥章が胸間にないので大に驚き心當りを探したが今に見當らず警察署及び憲兵隊にも屆け出で◇秘密に捜索中との事である多分青山の藤井較一大將を訪問した際自動車が通せぬ爲一町餘を徒歩した多分其間に落したものだらうと云ふ何分新任早々の事とて同元帥は痛心捜索に努めつゝあるとの事である

◇晝の夜廻り

大火に懲りた米澤

米澤地方の村々では米澤に大火があると、スグ長井にあり、又戸澤にあると云ふので、非常に怖れて『火の神樣が怒られたのだ』と縮み上つて居る◇そして急に相談して俄に方々から、ヨボ〳〵の婆あさんを狩り出して、眞晝間『カチン〳〵』と拍子木を打つて『夜廻り〳〵』と遣つて居る

新刊紹介

▲書畫之研究（創刊號） 書畫を道樂として又は骨董として扱ふを戒め崇高なる感情と純潔なる理想とを以て眞面目に其の研究に從ひ道德的藝術の對境に進ましめん事を目的として生れたるものにして非常澤、伊藤仁齋、八田知紀、松平樂翁公等の書畫入稿之誌、那子爵、古永德等の畫を口繪とし記事には三宅、添田、幸田、ボ木各博士下村爲山、大村西崖、中村不折其の他の書畫に關する各種の讀物を滿載せり健全なる發達を祈る（二十正錢東京本鄕駒込林町一〇五其社）

▲兒童（六月號） 杰府せる現代の家庭と兒童教養（三輪田元道）初誕生までの一年間（河合醫學士）家庭と學校との聯絡其他（十六錢東京府下目黑權之助坂下兒童教育研究所）

▲趣味之友（六月號） 吸藏と土俗、釣と鮎釣、西鶴雜話、漢字の趣味、武家義理譚の脚色依例龍送趣味不住（二十五錢東京麻布鋅町一八〇其社）

▲英語精習（六月號） 時文精習、英語叢報、實業英語、多讀資料、和文英譯精習其他の部分に分ち活用を主とせり（十五錢東京芝南佐久間町一の一其社）

▲我が家（六月號） 武家と農家（田中中將）農家と世話女房（大江教授）地震後の御利益（高木文學士）其他農村家庭の讀物を收む（五錢東京麴町飯田町二の五二帝國在鄕軍人會本部）

▲戰友（六月號） （七錢東京麴町飯田町二の五二帝國在鄕軍人會本部）

▲獨立公論（五月號） （十錢布哇ホノルヽマーチャント街、キヤンベルブロツク其社）

▲正則中學講義錄（四學期の七） 會員組織（東京神田駿河臺大日本國民中學會）

▲勞働及産業（六月號） （十五錢東京府西多摩郡五日市町其社）

▲大邱商業會議所々報（五月號） 大邱商業會議所

▲婦人週報（三の二二） （四錢五厘東京牛込市ケ谷田町二の一七其社）

▲千代田（五月號） （十五錢神田橋本町三の五其社）

▲宗報（五月號） （五錢京都烏丸七條上る大谷派本願寺内其發行所）

▲發明雜誌特許彙報（五月號） （六錢東京麴町三番町六一其社）

▲郵便所の公衆溜の筆は新しいのを出すと一時間立たぬ間に耳に挾みて其儘失敬する人があるには閉口する、處が二三日前事務員の知らぬ間に古筆三十本計り置いて行かれた人がある紙上で一言御禮を申上ます（本町三郵便所）▲飼犬家中には無暗矢鱈に吠へる犬を追つ放してある處もあるが番犬なら番犬の樣にするが好い來客の何人でも吠へ付かすのは訪問客拒絶の計策かも知れねが何れは大に不都合だ（痴犬生）▲近頃妙な大騷なヨボが飯を臭れろと執念く來て困ります彼の樣な手合に惡徒はありますまいか（米倉町の女主人）▲個々狂犬が出たからと云ふて他の健全な犬まで片ッ端から撲殺しろの税金を上げろと云ふのは無理だ又狂犬病の流行期には別に繫留しなくとも口輪でも箝めて解放する事にしたら何うでせう（愛犬家）▲同じ品物でも店に依つて値段に大較な相違がある甲の店で二十錢で賣つてるものを乙の店に行くと二十五錢が一厘も負からぬと云ふ京城の商人もまだ〳〵勉強が足らぬ哩（買物上手）▲温突を焚くのも好いが煙突がない爲め狹い露路一面煙だらけで通られたものちやない何とか取締の方法はないものか（東長屋住居）

「手紙文藝者の良伴 大町桂月鑒修小波神先生監輯 速成手紙文秘訣は短日月にて手紙上手とならしめる樣手紙の秘訣を親切平易に説明し且つ面白く讀んで行く中に手紙の秘訣を敎へる事新式にして徹頭徹尾實用的なる事會員に對して親切なる事大町桂月先生親しく會員の手紙を添削する事等の五大特色ある爲非常なる大好評にて入會者山をなす（規則書進呈）東京市牛込田馬場手紙研究會へ見本附規則送れとハガキで申込めば直ちに無代送呈する由

□ぬひめなし蚊帳廉價販賣 大阪、京都、備後、大分等に支店を有し三百有餘年連綿として今日の隆盛をなせる東京日本橋區通四丁目の蚊帳類一式並に疊表販賣の西川甚五郎商店にては蚊帳や夏座蒲團の必要期に迫つたので櫻印ぬひめなし蚊帳、本蚊帳や木綿か千代田等の柄や各種類に夏座蒲團は本年東京にて流行の新柄仕立上り品を擇山取揃へ安價に販賣し營業の案は御一報次第送呈する由

□信用ある東京三金の靴 東京市芝區愛宕下町三金商會靴店にては戰亂の影響にて製革に大暴騰を來し各靴店の値上賣行にも不拘同店は抱擁な材料の持合せと薄利多賣主義を守り特別廉價にて販賣せるため各地より多數の注文を受け日夜多忙を極めつゝあり因に希望者はハガキにて申込めば革見本附目錄を進呈すと

●鳥取縣下の火災 [illegible]

◉滿洲の企業界 [illegible] 敗を增加し來れる傾向あるは讓崇聞 發上遲慢すべき事共なり [illegible] べく準備中なるが撫順に於けるモン ド瓦斯利用の化學工業も次第に其步 [illegible] 本年に入りて一般の注意を惹きた るは立山及び鞍山站の製鐵事業にし ろ三百萬乃至五百萬圓位の事業なと 地に起き資本家に勸誘なしたるとこ 造業、其他の事業をも營むことゝな し目下その準備中なり 事業を起すの計畫あり又鐵嶺の製粉 事業の如きも資本を增額し事業を擴 の資本が此くの如くにして漸次商港 に注入せらるし [illegible]

京日案內

普通 一回前金（遇名一週日廿錢） 番外一回前金五十錢 ▲申込後中止の節は一切返金せず ▲行數以上の申込には特に割増 ▲寫眞廣告の節は必ず數字の番號記入を乞ふ

◉店員二名入用 中島印刷所 電話二一〇八番 92

◉融通 極秘迅速 御婦人御相談 京城大和町三の三武（病澤前）起木屋 43

◉信用貸金 抵利迅速 極秘貸出 來店又は參上 黃金町一ノ一九三朝鮮ホテル左金谷園横上 相屋融部 93

◉讓畑地 梨、林檎、桃、千五百本植付の儘讓渡し度し希望の方は來談あれ（姓名在社） 83

番外 德永利吉へ告ぐ 急ぎ通信せよ 京城日ノ出町 志岐組 電話三〇五番 94

◉はねつぎ（うちみ くじき） 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場 59

恩給年金即時立替 西四軒町無保險取扱確實也 山口屋 京城南大門外蓬萊町 成町 春川 京城京義線沙里院支店 84

京城 春川 聞合自働車 貸切片道四圓 京城發前八時 春川發前八時 電話二一三八番 支配人 白働車商會 72

カバン製造並修繕 京城明治町二丁目電話一八三三番 古賀艶製造所 54

◎玄米精乳は 北米倉町 京化研究所代理店の特製品である（電話一五四七番） 12

◉生徒募集 各科入學を許す 修業期間六個月 卒業後希望者は當會社女敎師に採用す 黃金町二丁目シンガー裁縫女學院 87

◉職業を授く 多少人格を要す 專或は副業にても可、毎日午前中本人來談 地方は履歷書を送せよ 京城明治町二ノ九八、竹の屋まで 89

建築金物土木工具 京城本町二丁目 電一六三 振替二一二〇 佐野彦商店 48

◉乳母至急入用 京城南米倉町二八一 松井 96

恩給年金類最長期融通即時立替 全額不要保險 極秘確實 陳列館表門下角 京城永樂町一丁目 江州屋本店 29

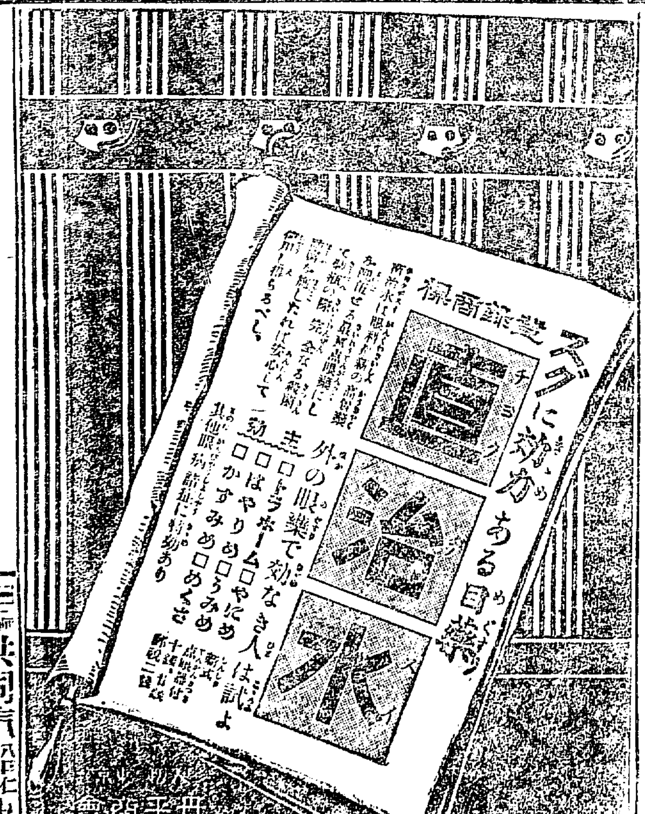
紳士用 婦人用 サック 定價 十二個六十錢 廿五個一圓廿錢、五十五個二圓四十錢、百廿個四圓八十錢 送料各八錢嚴封送る 東京芝區神谷町十八 サック 十五錢 遠藤 振替東京二五二三八

▲各種萬年筆修繕▼ 振替口座京城三〇〇番 京城日報代理部

一瓶でも見ちがへる程色白く美人となるタンス液

是れからの日焼を防ぎ白粉のノリを良くし尙お入浴の後洗顏の後髭ソリの後へお附けになれば化粧まけを防ぎ肌のきめを細かにして自然の美を造る事ダンス液の特長なり是非一度御試し下さい 定價小瓶金二十錢、大瓶金五十錢 要送附す 發賣所は各地小間物化粧品店藥店にあり品切の節は發賣元へ三錢切手七枚添へ御注文あれば送料不要 發賣元 東京市日本橋區馬喰町三の六 月本彌三郎商店 京城代理店 明治町 荻村商店

攝津灘 大塚釀造所吟製 金露 京城本町二丁目 發賣元 前田酒店 電話一三七番 振替口座四二五番



朝鮮彙報 大正六年六月號（定價貳拾五錢 郵稅二錢五厘）

主要目次

口繪 總督の地方巡閱、奠部博覽會に於ける朝鮮館、漢江架橋工事、仁川築港閘門扇組立の狀況

□北米視察雜感……本田勸業模範場長

□日本佛敎史の特色……村上文學博士

□我國工業の趨勢と獨逸の染料工業に就て……宇野中央試驗所技師

□發電水力調査（承前）……遞信局

〔行政〕◉民風改美と地方學校◉平安南道行政區域名稱一覽表〔財政及金融〕大正五年中に於ける輸出穀類の鐵道連帶輸送◉大正六年度地方費豫算◉大正水利組合の事業進捗◉農工債券の發行◉大阪對朝鮮貿易◉四月中貿易◉三月中經濟概況〔產業〕大正五年の米實收高◉苗木の梱包揭置時間ご損傷の程度◉カラマツの養苗◉テウセンカラマツの養苗成功◉乳用牛種類別◉大正五年の蠶種製造◉大正五年雜穀共同飼育成績◉大正五年優良家蠶繭の販賣及移出◉綿工場に關する調査◉人耕作者褒賞授與〔交通及土木〕鎭南浦冬季結氷に關する調査◉遞信事業概況◉四月中鐵道運輸〔學事〕內地學生生徒及兒童身長體重胸圍に就て◉學校に於ける理科算術に關する概況〔司法及警察〕阿片煙吸食モルヒ子注射の取締及其の犧牲中毒者救護狀況

〔研究資料〕朝鮮に於ける辯護士制度……僧侶架橋の功德

◉地方通信◉新報◉叙任辭令◉統計◉法令及通牒◉判決例

△投稿を歡迎す 原稿締切期限每月十日

△販賣店 朝鮮各地の書店にて販賣す

△廣告料 一頁十圓 取扱所 京城 ウツボヤ書籍店

朝鮮郵船 出帆

本社 電話長一九五二番二三一番 京城南大門 京城新容取次店 松原運送店（電話一七〇番）

○江原丸 六月十三日 ○京畿丸 六月十八日 ○黃海丸 六月十八日 ○咸鏡丸 六月八日 釜山發（門司より釜山各港寄）
○穩城丸 六月五日 ○昌平丸 六月 日 ○鏡城丸 六月十四日 元山發（元山より各港寄）
○咸鏡丸 六月 日 元山發
○盛京丸 六月 日 釜山發
○江陵丸 ○漢陽丸 毎 日 釜山・浦項發
○三河丸 六月五日 釜山發
○濟州丸 ○紀瓊丸 ○慶興丸 毎日 釜山發
○平壤丸 六月四日 元山發
○大元丸 木浦發
○慶興丸 六月四日 木浦發
○慶興丸 六月 日 木浦發
○公州丸 六月七日 木浦發
○宗信丸 六月 日 仁川發
○肥水丸 ○晋州丸 六月七日 仁川發
○金州丸 ○南陽丸 毎日午前 仁川發

日本郵船 仁川出帆

○大連行、太沽（天津）牛莊行 相模丸 六月廿四日正午出帆
新潟丸 六月十三日正午出帆
三河丸 六月十三日正午出帆
仁川海岸町一丁目 堀 回漕店

尼崎汽船 仁川出帆

群山木浦釜山下關神阪行 ○大有丸 六月十二日後四時出帆 ○君か代丸 六月七日後四時出帆 ○吉丸 六月四日後四時出帆 ○秀代丸 六月九日後四時出帆 ○神
仁川海岸通三丁目 電話九十番 部杉回漕部

大阪商船 仁川出帆

門司、神戶、大阪行 ×南部丸 六月十日 ×釜頭丸 六月十七日 ×南部丸 六月廿四日 後二時出帆
○×木浦、釜山、三千浦、統營、長崎行 ○安東丸 六月七日 正午出帆
○×△横濱行 濟州丸 六月十八日 福州丸 六月六日 後二時出帆
×◎南浦行 油頭丸 六月十四日 南部丸 六月七日 正午出帆
◎××鎭南浦、大連行 安東丸 六月二十日 安東丸 七月八日 後二時出帆
◎×△大連直航 州丸 六月十六日 遼州丸 六月廿二日 正午出帆
◎西湖津、新浦、城津、淸津行（元山出帆） 宮島丸 六月四日後十二時出
◎淸津行（元山出帆） 安平丸 六月十六日後十二時出
◎上海、芝罘、大連行（大連出帆） 湖北丸 六月二十日前六時出帆 基隆丸 六月 後四時出帆

御注意 連絡切符發賣其他詳細は本船及切符發賣所に御問合せ下さい
切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話一二番二〇番五五八番
切符發賣所 內國通運會社京城支店 電話七〇八番
切符發賣所 仁川京城通り 朝鮮旅館 電話二六一番

共同汽船 仁川出帆

◎生利號 芝罘、大連行 六月三日午後入港 六月五日前十時出帆
阿波共同汽船株式會社 本町四丁目（電話一七三番） 仁川代理店 野口商會 元山代理店 田口回漕部 京城取次店 河村運送店